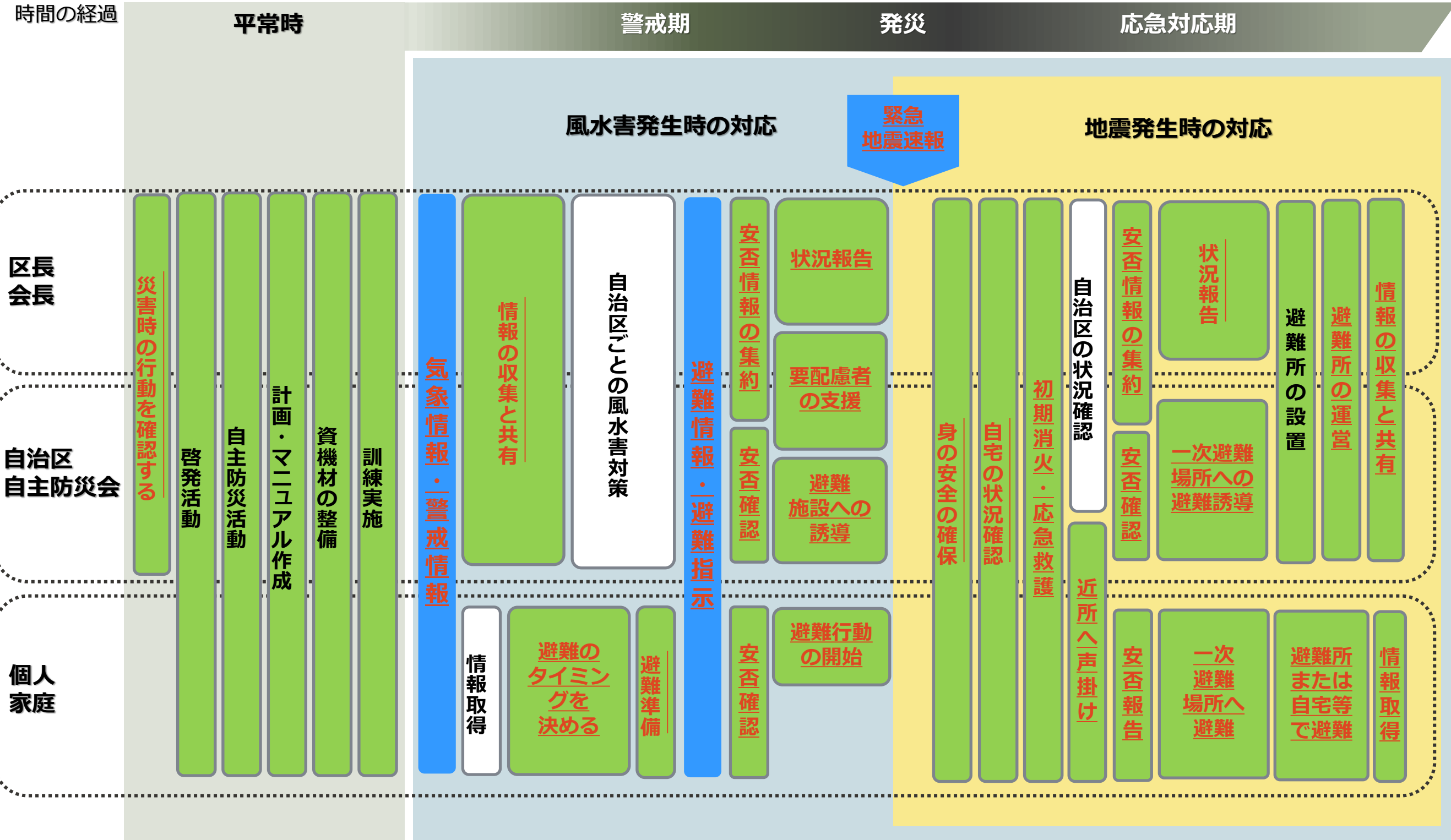


松平の防災事業まるわかりシート

令和6年度までに実施した防災事業



【地震①】自分の命は自分で守ることについて考えるシート

ワークのすすめ方

地震発生直後に、**自分自身と家族の命をまもるための行動について**、間取り図に書きながら考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる??



1

【地域はどうか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況
をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

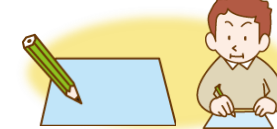
地域の被害について意見
を出し合い、【意見】を
記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！



松平地区：最大震度6弱

出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

阪神・淡路大震災（平成7年）の事例

阪神・淡路大震災で亡くなった人の原因は、「圧死」の方が大部分（約3/4）を占めており、「焼死」の方も約1割であった。**死亡原因として最も多い「圧死」を減らすには、家屋の耐震性強化と家具転倒防止に取り組むことが、まず重要である。**

1階部分がわからないほど
倒壊した家屋

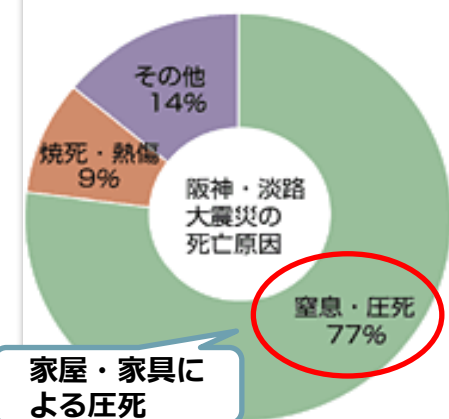


被災者の声



神戸は地震の少ない所だと信じさせられていたので、**洪水などには注意しても、地震に対してはあまり関心がなかった。**家を建てた時(S.53)も大工さんが「地震に強いように筋交いを入れておきましょう」と言われた時もそんなに必要かしらと思った位だった。**タンスが三つに折れて転んだり、ガラス戸棚がメチャメチャに壊れてガラスが突き刺さるように布団や畳に落ちたりと、もっと普段から備えておくべきだったと思った。**

阪神・淡路大震災の死亡原因



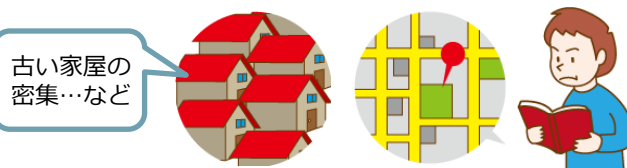
家屋・家具による圧死

出典：国土交通省 近畿地方整備局HP 阪神・淡路大震災の経験に学ぶ震災時における社会基盤利用のあり方について
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/daishinsai/>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

自宅内で起きそうな被害
を間取り図に書き込みま
しょう



<例> タンスたおれる！

自宅の安全のために**確認すべきこと・やるべきこと**を記入欄に書き込みましょう

危ないところはどこか？

3

1

どのような対策が必要か？

3

2

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）に進めてほしい対策は何か？
自治区（組など）が協力して進められる対策は何か？

4

1

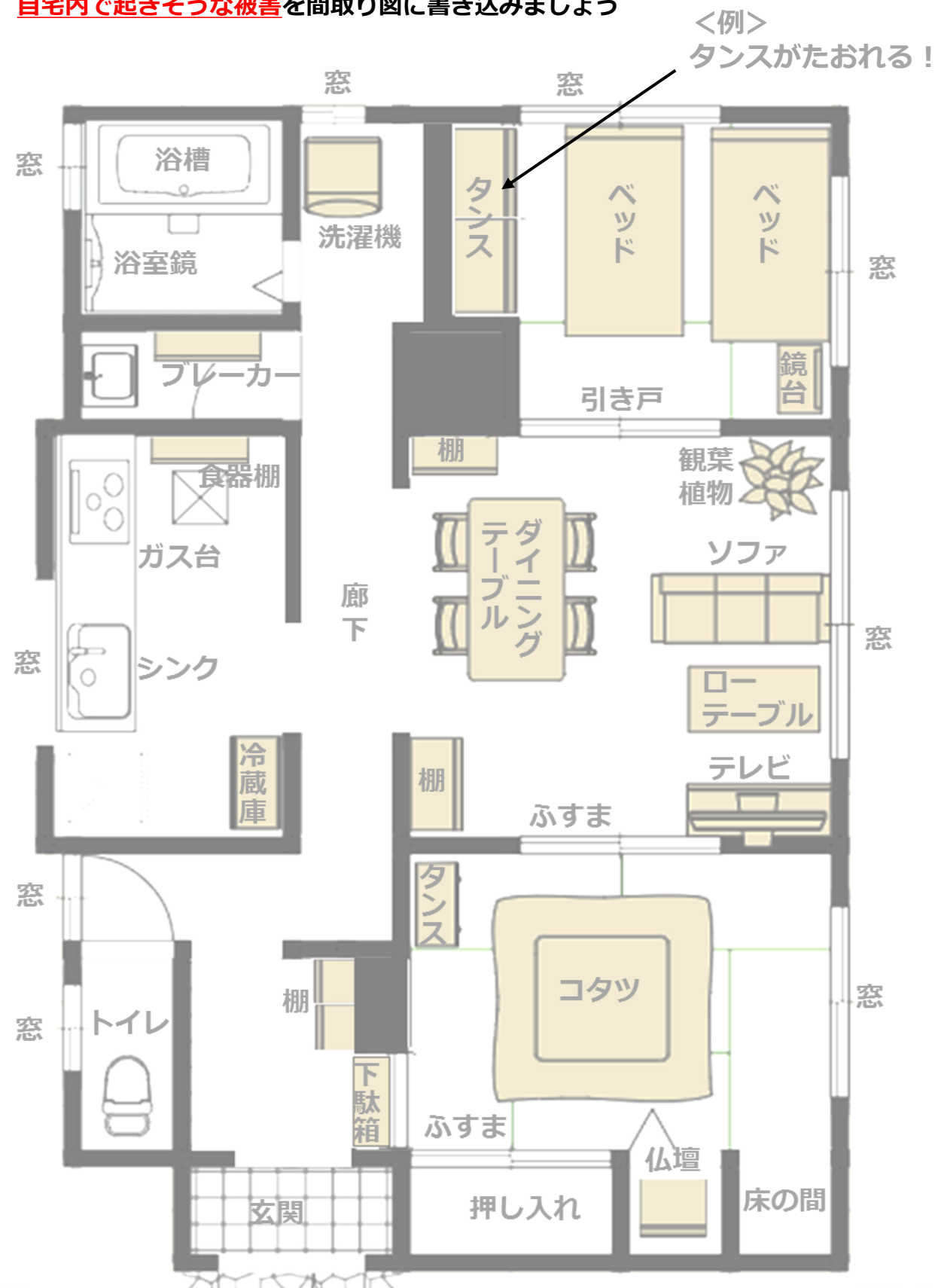
【地震①】自分の命は自分で守ることについて考えるシート

記入用紙

3

【意見】を記入する

自宅内で起きそうな被害を間取り図に書き込みましょう



自宅の安全のために確認すべきこと・やるべきことを記入欄に書き込みましょう

3

1

危ないところはどこか？

＜例＞タンスが倒れる

3

2

各自どのような対策が必要か？

＜例＞タンスをなくす

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）に進めてほしい対策は何か？

自治区（組など）が協力して進められる対策は何か？

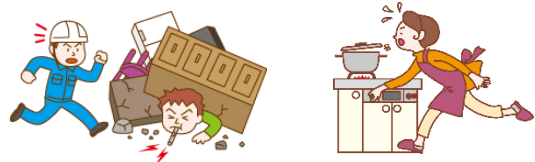
4

1

【地震②】自宅の状況確認（火の始末・出口の確保）について考えるシート

ワークのすすめ方

地震発生直後における**自宅の中で起こりそうな被害と、その対策と備えについて**間取り図に書きながら考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる??



1

【地域はどうか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況
をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

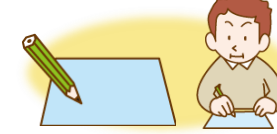
地域の被害について意見
を出し合い、【意見】を
記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！

松平地区：最大震度6弱



出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

阪神・淡路大震災（平成7年）の事例

阪神・淡路大震災で亡くなった人の原因は、「圧死」の方が大部分（約3/4）を占めており、「焼死」の方も約1割であった。死亡原因として最も多い「圧死」を減らすには、家屋の耐震性強化と家具転倒防止に取り組むことが、まず重要である。

1階部分がわからないほど
倒壊した家屋



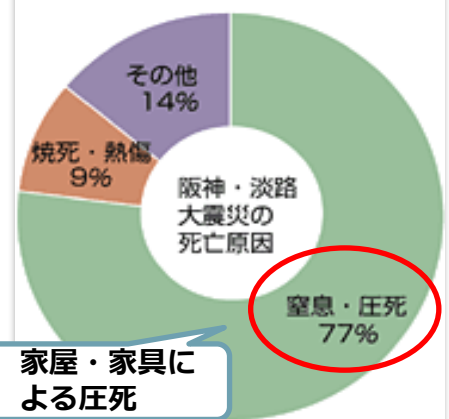
被災者の声



神戸は地震の少ない所だと信じさせられていたので、洪水などには注意しても、地震に対してはあまり関心がなかった。家を建てた時(S.53)も大工さんが「地震に強いように筋交いを入れておきましょう」と言われた時もそんなに必要かしらと思った位だった。タンスが三つに折れて転んだり、ガラス戸棚がメチャメチャに壊れてガラスが突き刺さるように布団や畳に落ちたりと、もっと普段から備えておくべきだったと思った。

出典：国土交通省 近畿地方整備局HP 阪神・淡路大震災の経験に学ぶ震災時における社会基盤利用のあり方について
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/daishinsai/>

図1 阪神・淡路大震災の死亡原因

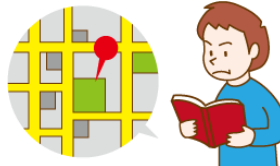


家屋・家具による圧死

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、地域の危険性、災害に対する強み・弱みを確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

自宅内で起きそうな被害
を間取り図に書き込み
ましょう



<例> 仏壇たおれる！

自宅の安全のために確認すべきこと・やるべきことを記入欄に書き込みましょう

危ないところはどこか？

3

1

どのような対策が必要か？

3

2

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）に進めてほしい対策は何か？
自治区（組など）が協力して進められる対策は何か？

4

1

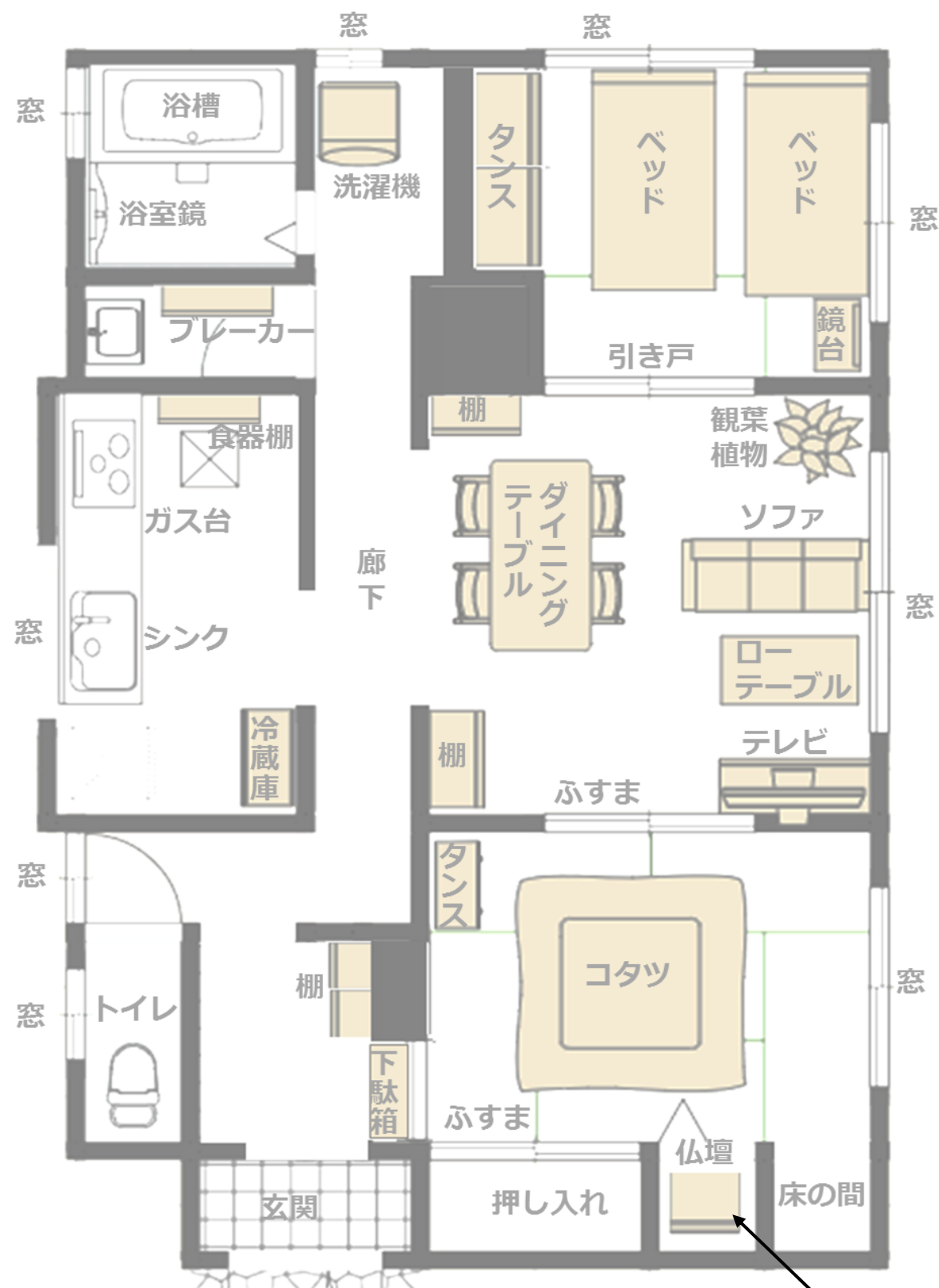
【地震②】自宅の状況確認（火の始末・出口の確保）について考えるシート

記入用紙

3

【意見】を記入する

自宅内で起きそうな被害を間取り図に書き込みましょう



<例> 仏壇がたおれる！

自宅の安全のために確認すべきこと・やるべきことを記入欄に書き込みましょう

3

1

危ないところはどこか？

<例> 仏壇が倒れる

3

2

各自どのような対策が必要か？

<例> 仏壇の転倒防止

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）に進めてほしい対策は何か？

自治区（組など）が協力して進められる対策は何か？

4

1

【地震③】 初期消火活動・救出・搬送・応急救護について考えるシート

ワークのすすめ方

地震発生直後における**初期消火活動や人命救助**など、地域の中での初動期の共助活動について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる??



1 【地域はどうなるか、どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2 【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3 【意見】を記入する

地域の対応について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取組みを話し合い、記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！

松平地区：最大震度6弱

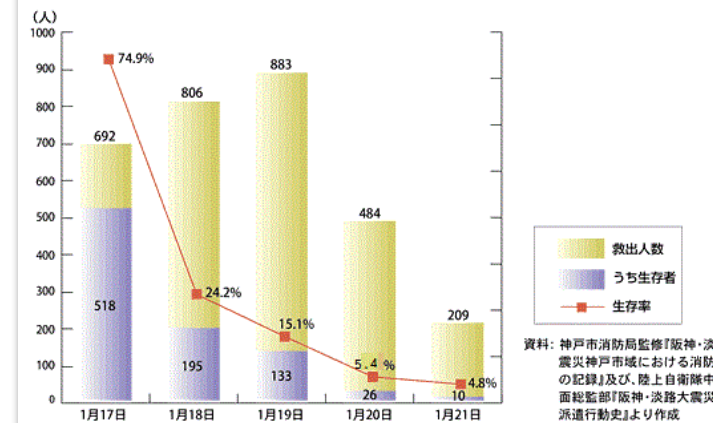


出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

阪神・淡路大震災（平成7年）の事例

救出者のうち生存者の占める割合について日を追って見ると、早く助けるほど生存の確率は高かった。被災当日の1月17日は、救出者の4人に3人は生存していたが、翌18日では、救出者のうち生存していた人は4人に1人しかいなかった。

図2 救出者中の生存者の割合の推移（1月17日～21日の5日間）



炎上する市街地から立ちのぼる黒煙



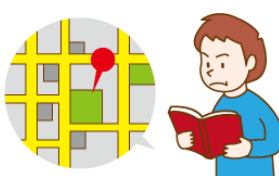
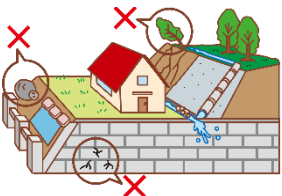
1階部分がわからないほど倒壊した家屋

出典：国土交通省 近畿地方整備局HP 阪神・淡路大震災の経験に学ぶ 震災時における社会基盤利用のあり方について
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/daishinsai/>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

被害想定

どこが危ないか？

3 1

何が起きるか？

3 2

災害対応

どのような対応・行動をするか？

3 3

誰がするか？

3 4

備え

どのような道具や備えが必要か？

3 5

道具や備えはどこに保管するか？

3 6

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

【地震③】 初期消火活動・救出・搬送・応急救護について考えるシート

3 【意見】 を記入する



4 【今後の取り組み】 を記入する



被害想定

どこが危ないか？

3

1



何が起きるか？

3

2

<例> ○○の裏山

<例> がけ崩れ

災害対応

どのような対応・行動
をするか？

3

3



誰がするか？

3

4

<例> 火災の場所を知らせる

<例> 近くの人

備え

どのような道具や備えが
必要か？

3

5



道具や備えはどこに
保管するか？

3

6

<例> 消火器

<例> すぐ取り出せる場所

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【地震④】 近所への声掛け・一時避難場所への集合について考えるシート

ワークのすすめ方

地震発生直後における**隣近所での安全確保・安否の確認**など、初動期での地域の共助活動について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる??



1

【地域はどうなるか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3

【意見】を記入する

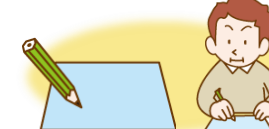
地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取組みを話し合い、記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！

松平地区：最大震度 6 弱



出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

阪神・淡路大震災（平成 7 年）の事例

阪神・淡路大震災では、**日ごろからの近所づきあいや地域の備えが、迅速な安否確認や救助活動につながった**例が複数みられた。

救出を早めた近所づきあい

震源地の淡路・北淡町。倒壊家屋があふれ、あちこちから煙が立ち上る。町消防団の団員565人が自宅を飛び出した。吾妻鉄也団長（69）は自転車で現場に走った。「おばあちゃんが家の中に取り残された」。倒壊家屋のそばで、**家族ががれきの山を指さした。団員は、だれがどこに寝ているかを知っていた。目指す場所は分かっている。落ちた屋根の瓦を除き始めた。**

地域の付き合いが緊密な土地柄が救出時間を短縮した。

全半壊約1,900棟の同町で、地震発生から8時間後には、町民全員の安否が確認できた。

出典：『大震災 その時、わが街は』（神戸新聞社編、1995年）

1階部分がわからないほど倒壊した家屋



日頃からの近所づきあいが大事であることの指摘

隣近所に誰が住んでいるのかを知っていることが助ける時に必要。日頃からいざという時に助け合いが出来るか、仲間づくりが必要。
【被災住民】

日頃から地域に馴染みのない人が埋もれたままで発掘救助に手間取った。
【被災住民】

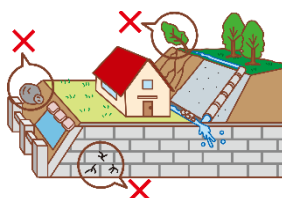
出典：「震災とインフラ施設に関する体験・意見の募集アンケート」（近畿地方整備局 2000年）



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

被害想定

全住民一時避難

備え

どこが危ないか？

3 1

何が起きるか？

3 2

どのような対応・行動をするか？

3 3

誰がするか？

3 4

どのような道具や備えが必要か？

3 5

道具や備えはどこに保管するか？

3 6

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

【地震④】 近所への声掛け・一時避難場所への集合について考えるシート

記入用紙

3

【意見】を記入する

被害想定

どこが危ないか？

31

>

何が起きるか？

32

<例> 〇〇の裏山

<例> がけ崩れ

全住民一時避難

どのような対応・行動をするか？

33

>

誰がするか？

34

<例> お隣の人へ声をかける

<例> みんな

備え

どのような道具や備えが必要か？

35

>

道具や備えはどこに保管するか？

36

<例> 近所づきあい

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

41

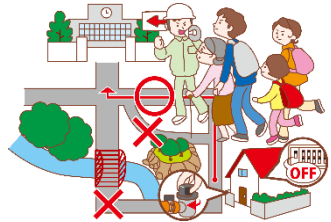
すぐに取り掛かるべきことは何か

42

【地震⑤】避難施設への避難について考えるシート

ワークのすすめ方

避難施設への移動に係る地域での判断や行動、支援活動のあり方について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる??



1

【地域はどうなるか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3

【意見】を記入する

地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取り組みを話し合い、記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！



松平地区：最大震度6弱

出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

避難所を運営するための4つの基本方針＜豊田市＞

1

避難所が、地域の人々の安全を確保し、生活を再建するための地域の防災拠点として機能することをめざします。

2

避難所は、地域のライフラインが復旧する頃まで設置し、復旧後は速やかに閉鎖します。

3

避難所では、避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する被災者を含む）の自主運営を原則とします

4

避難所の後方支援は、市の災害対策本部が主に行います。

一次避難先から避難所開設・運営開始までの流れ

避難した
場所で

- 避難した人を、自治区や組などごとに確認
- 人の振り分け（トリアージ）を行い病院や福祉避難所へ搬送
- 自宅での生活が困難な場合…**避難所で生活する（車中で生活する）**
- 状況が落ち着いたら…**安全を確認し自宅に戻る**

避難所

- 建物の安全確認
- 施設内の設備の点検
- 避難所運営のために使う場所の指定
 - ・受付、通路の決定
 - ・避難所として利用可能な場所
 - ・立ち入り禁止にする場所
- 避難してきた人の受付
- 市災害対策本部への連絡
- 情報収集・伝達手段の確保
- 備蓄している水や食料、物資の確認・配給
- 安全対策
- 遺体の一時受入れ

自宅・車など
（避難所以外の場所）

- 物資などの支援が必要な場合
- 避難所利用者登録

在宅避難のすすめ

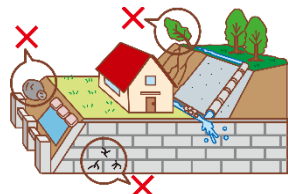
災害後、自宅の安全が確認できる場合は、自宅での避難（在宅避難）が基本です。
①避難所のスペースには限りがあります。
②自宅は個人（家族）の空間として生活ができます。
③空き巣の被害を防ぐことができます。

出典：豊田市避難所運営マニュアル（本編） 平成30年 4月 豊田市 を一部再構成
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1024005.html>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

被害想定

どこが危ないか？



何が起きるか？



避難

どのような対応・行動をするか？



誰がするか？



備え

どのような道具や備えが必要か？



道具や備えはどこに保管するか？



4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か



すぐに取り掛かるべきことは何か



戻る

【地震⑤】避難施設への避難について考えるシート

3 【意見】を記入する



被害想定

どこが危ないか？

3

1

<例> ○○の裏山

何が起きるか？

3

2

<例> かけ崩れ

避難

どのような対応・行動
をするか？

3

3

<例> 避難所へ行く世帯を把握する

誰がするか？

3

4

<例> 避難所へ行く人

備え

どのような道具や備えが
必要か？

3

5

<例> 近所づきあい

道具や備えはどこに
保管するか？

3

6

4 【今後の取り組み】を記入する



自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【地震⑥】避難所の運営について考えるシート

ワークのすすめ方

避難所の運営に係る地域での判断や行動、支援活動のあり方について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる??



1

【地域はどうなるか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3

【意見】を記入する

地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取組みを話し合い、記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！

松平地区：最大震度6弱



出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

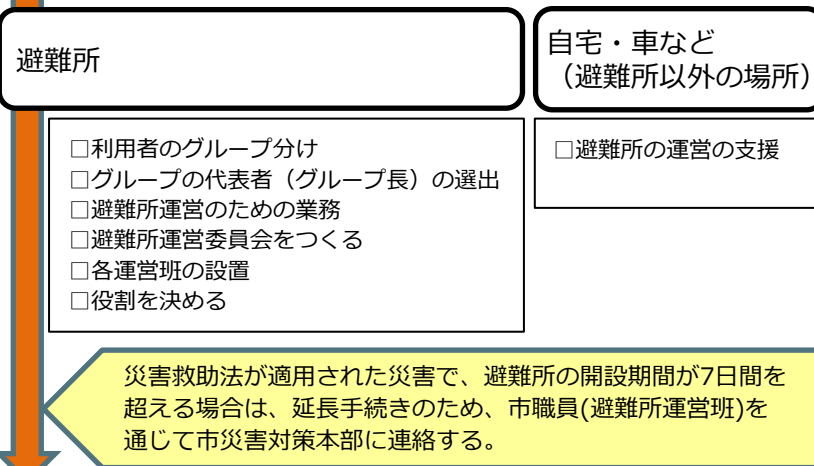
避難所を運営するための4つの基本方針＜豊田市＞

- 1 避難所が、地域の人々の安全を確保し、生活を再建するための地域の防災拠点として機能することをめざします。
- 2 避難所は、地域のライフラインが復旧する頃まで設置し、復旧後は速やかに閉鎖します。
- 3 避難所では、避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する被災者を含む）の自主運営を原則とします
- 4 避難所の後方支援は、市の災害対策本部が主に行います。

出典：豊田市避難所運営マニュアル（本編） 平成30年 4月 豊田市 を一部再構成
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1024005.html>

避難所運営の流れ

避難を利用する人たちが主体となって運営できるよう、避難所運営委員会を組織する。

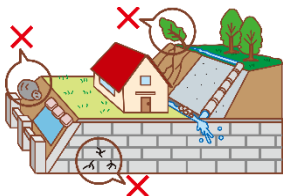


出典：豊田市避難所運営マニュアル（本編） 平成30年 4月 豊田市 を一部再構成
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1024005.html>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

避難所確認

避難所になりそうな場所はどこ？

3 1

具体的にそれはどこ？

3 2

避難所運営

どのような対応・行動をするか？

3 3

誰がするか？

3 4

備え

どのような道具や備えが必要か？

3 5

道具や備えはどこに保管するか？

3 6

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

【地震⑥】避難所の運営について考えるシート

3

【意見】を記入する

避難所確認

避難所になりそうな
場所はどこ？

3

1

<例> 山を背にしていない
開けた場所

具体的にそれはどこ？

3

2

<例> ○○さんの家の
裏にある広場

避難所運営

どのような対応・行動
をするか？

3

3

<例> 避難所生活の役割分担

誰がするか？

3

4

備え

どのような道具や備えが
必要か？

3

5

<例> 避難所運営訓練

道具や備えはどこに
保管するか？

3

6

<例> 避難所

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

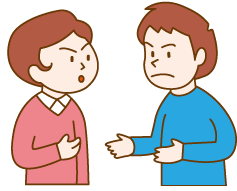
4

2

【地震⑦】情報の共有・報告について考えるシート

ワークのすすめ方

地震発生直後における**情報の共有・報告**について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる？



1 【地域はどうか、どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2 【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3 【意見】を記入する

地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取組みを話し合い、記入します。



1 【地域はどうか、どうするか】考える ～地震が発生した場合の被害想定～

大地震が起こった場合の豊田市（平日夕方発災の場合）

- 南西部（市街地）では、強い揺れのため家屋の全壊・焼失が生じる可能性がある
- 東部（山間部）では、斜面崩壊等による道路の途絶、集落の孤立、生活困難が予想される
- 面積が広大なため管路・電線の点検対象がたくさんあることから、長期（1週間以上）にわたるライフラインの停止が予想される

【あなたの周りではこうなる】

- ◆大きな揺れ！
- ◆自宅の家具等散乱・落下物！
- ◆外で火災が発生！
- ◆渋滞・通行止めの発生！

松平地区：最大震度6弱



出典：豊田市地震被害予測結果 報告書 平成 27 年 3 月 豊田市
注：震度分布および人的・物的被害等のデータは過去地震最大モデルを参照

熊本地震（平成28年）の事例

学校・PTA・自治協議会が連携した学校での避難所運営（熊本市東区尾ノ上校区）

□発災後の経緯

日時	出来事	地域の行動	学校再開に向けた考え方
4/15 (金)	前震発生	・被害少数。最小限の運営	
4/16 (土)	未明：本震発生 (M7.3震度7)	・町内見廻り→防災倉庫を開く ・自治会と地域住民で物資配布開始 ・テント、仮設トイレ、発電機設置	震災直後は命をつなぐことに注力
4/17 (日)		・飲料水手配(消防団・自治協議会・地域住民) ・生活用水確保(プールの水)	自治協議会、社会福祉協議会、民生委員、行政 避難者に避難所を出てからの生活のイメージを持ってもらえるよう、関係者が連携してフォロー
4/18 (月)		・本格的な炊き出し実施(自治協議会・地域住民が協力) ・学校再開(5/10)に向けた関係者協議	

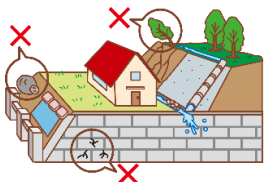
□なぜ、うまくいったのか？⇒ 長期に渡って、**自治協議会と地域住民、保護者のつながりが出来ていた**。高齢化している自治協議会メンバーと保護者の世代の間の信頼が、年間行事等を通じ培われていた。

□今後に向けた課題⇒ マニュアルの整備（マニュアルが無いため、間で動かざるを得なかった）、自宅避難者に対する情報提供および安全確認の方法、役割分担の明確化など。

出典：内閣府HP 平成28年8月30日「熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討ワーキンググループ」（第2回）資料2-3 「学校・PTA・自治協議会が連携した避難所運営について」より一部加筆

2 【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3 【意見】を記入する

記入用紙

	あなたに必要な情報は何か？	その情報は、どのように入手するか？	自治区(組など)で共有すべき情報は何か？	区長さんに報告すべき情報は何か？
発生災害				3 → 1
発生被害				
復旧急				

4 【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【地震⑦】情報の共有・報告について考えるシート

記入用紙

3 【意見】を記入する

	あなたに必要な情報は何か？	その情報は、どのように入手するか？	自治区（組など）で共有すべき情報は何か？	区長さんに報告すべき情報は何か？
災害発生	 子供の行方が分からない！どこにいるの！			
被害発生	お父さんが家の下敷きに！助けて電話が繋がらない……			 皆の安否はどうなっているのか困っている人はいないか…
応急復旧		 ○○さんが閉じ込められている！助けが必要だ		

4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

すぐに取り掛かるべきことは何か

【風水害①】避難のタイミングについて考えるシート

ワークのすすめ方

風水害発生時において、**自分や、家族など周囲の人が、いつ、どのタイミングで避難を始めるべきか**を考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる??



1

【地域はどうか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況
をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

避難のタイミングについて
意見を出し合い、
【意見】を記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例（京都府：住民の避難行動に関する成功事例）

自助	○ 7月豪雨災害による土砂崩れで住家が全壊する被害があったが、<u>住民はすでに2日前に安全な家族宅に避難していた</u> ○ <u>前兆現象（におい、床に水が流入）があり、2階に避難した</u> ○ 避難しなかったが、<u>家が心配で山とは反対側の1階で就寝した</u>。土砂崩れが発生したが、就寝場所までは土砂が到達せず助かった
共助	○ 消防団員が、<u>川が増水していることに気づき、避難勧告等の発令前であったが、避難が必要と判断し（中略）避難を呼びかけた</u> ○ <u>自主防災組織・消防団による高齢者宅への避難の声掛けにより、避難誘導。その30分後に土砂災害が発生（全壊の被害）し、一命を取り留めた</u> ○ 7月豪雨災害において、市内に土砂災害警戒情報、大雨特別警報（土砂災害）が発表される中で、<u>事前に地域のハザードマップを確認していた消防団員が、高齢者を地域内の土砂災害警戒区域外のお宅に避難誘導し、安全を確保した</u>

出典：京都府 災害対応の総合的な検証会議（第2回）（平成30年12月27日）参考資料2 住民の避難行動に関する成功事例 より一部再構成



重要!

避難とは、**被害が起きる前に、安全な場所に移動すること。**



重要!

避難のタイミングや、避難すべき場所は、人や状況によって異なるため、「**自分目線**で」避難を考えることが重要

広域避難開始

台風に関する記者会見
（特別警報発表の可能性）

公共交通機関の運行停止

大規模水害の発生

はん濫発生情報発令

警戒
レベル2

警戒
レベル3

警戒
レベル4

警戒
レベル5

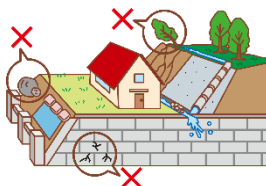
-48h -24h -12h -9h

-6h -3h 0h +3h +6h

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

所要時間

被害を回避できる
安全な場所はどこか？

平常時の移動に
何分必要か？

安全な場所までの移動
手段は？

大雨・浸水の場合の
移動に何分必要か？

行動開始
タイミング

あなたと家族が、避難の準備をしてから避難先への
移動が終わるまでに何分必要か？

では避難を開始すべきタイミングはいつか？

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

すぐに取り掛かるべきことは何か

記入用紙

4

1

4

2

戻る

【風水害①】避難のタイミングについて考えるシート

3 【意見】を記入する



3

1

被害を回避できる安全な場所はどこか？ 安全な場所までの移動手段は？

<例> 親戚の家

平常時の移動に何分必要か？

大雨・浸水の場合の移動に何分必要か？

所要時間

3

2

あなたと家族が、避難の準備をしてから避難先への移動が終わるまでに何分必要か？

すぐに避難できる準備はできていますか？



では避難を開始すべきタイミングはいつか？

行動開始タイミング

4 【今後の取り組み】を記入する



4

1

自治区（組など）の問題点・課題は何か

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【風水害②】避難行動の敷居を下げる工夫・日常の習慣づけについて考えるシート

ワークのすすめ方

風水害発生時において、**避難に不安や困難を抱える人を助ける工夫や習慣づけ**について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる？



1 【地域はどうなるか、どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2 【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3 【意見】を記入する

地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取り組みを話し合い、記入します。



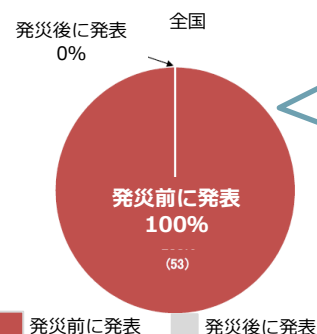
1 【地域はどうなるか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例

□被害の特徴

- ①西日本を中心に、広域かつ同時多発的に水害・土砂災害が発生
- ②洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域において、避難行動を促す情報が発令されていたにもかかわらず、人的被害が多く発生
- ③被災者の多くが高齢者

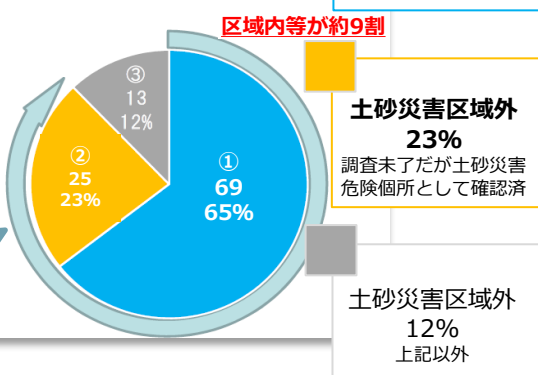
土砂災害警戒情報の発表状況 (平成30年8月8日時点)



人的被害（死者）が発生した53箇所のうち、発災時刻が特定できた全箇所、**土砂災害警戒情報が災害発生前に発表されていた。**

土砂災害による死者・行方不明者のうち、**約9割は土砂災害区域内で被災している**

土砂災害による人的被害箇所における区域の状況



土砂災害区域内
65%
警戒区域指定済または基礎調査完了

土砂災害区域外
23%
調査未了だが土砂災害危険箇所として確認済

土砂災害区域外
12%
上記以外

出典：国土交通省 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト 第1回 資料2-1 平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴 より一部加筆

避難勧告が出て身危険を感じる人は30%！人は逃げないもの、ではどうする!?

被害に遭った人たちに調査をすると、大抵の人は「逃げようと思った」と言います。逃げなければならないということは百も承知している。けれども、最終的に「逃げる」という決断をしなければ、結果として人は「逃げていない」のです。これは人間の性（さが）と言っていますが、**災いに対して「正常化の偏見」という心理が働きます。人間は、自分にとって都合の悪い情報は無視するという特性があるのです。**（中略）

逃げる、避難するという行為は、家屋家財をすべてそこに置いたまま立ち去ることですから、そもそも簡単なことではありません。むしろ人は逃げられなくて当たり前だとすら言えます。こうした状況下で必要になるのが、「率先避難者」の存在です。逃げる気はあるけれど逃げられない人たちの中であって「私は逃げるぞ」と声を大にして避難する人が、地域に1人はいてほしい。町会長でも誰でもいいのですが、そうした役割を担う人がいることは、地域の防災力を高める上でも重要です。（中略）

木造の住宅と鉄筋のアパートでは避難の仕方が異なり、マンションの4階であればすぐに逃げずに自宅にいた方が安全というケースもあります。**いたずらに恐怖心を煽るのではなく、自分の住んでいる場所の災害リスクと、個々の状況に即した避難の仕方を住民一人ひとりに客観的に知ってもらうこと。完全な防災より、可能な限り被害を小さくする「減災」を目指す**ことが、まずは重要なのです。

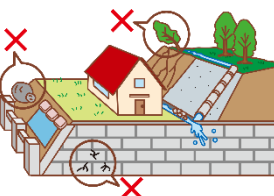
出典：内閣府（防災担当） ぼうさい 平成20年7月号 P14 特集：風水害の危険！そのとき、あなたは <http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h20/07/pdf/bs0807.pdf>



専門家

2 【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3 【意見】を記入する

原因は？
対策は？

すぐに避難ができないのはなぜか？

3 1

どのような対策が考えられるか

3 2

原因は？
対策は？

それは、なぜか？

3 3

3 4

原因は？
対策は？

それは、なぜか？

3 5

3 6

対策の
まとめ

上記の3つの原因のうち、重要なことは？

3 7

上記の3つの対策のうち、重要なことは？

3 8

4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

戻る

【風水害②】避難行動の敷居を下げる工夫・日常の習慣づけについて考えるシート

記入用紙

3 【意見】を記入する

4 【今後の取り組み】を記入する

原因は？
対策は？

3

1

すぐに避難ができないのはなぜか？

3

2

どのような対策が考えられるか

<例> 声をかけづらい

原因は？
対策は？

3

3

それは、なぜか？

3

4

どのような対策が考えられるか

<例> 避難に関する正しい知識がない

原因は？
対策は？

3

5

それは、なぜか？

3

6

どのような対策が考えられるか

<例> 今まで被災した経験がない

対策の
まとめ

3

7

上記の3つの原因のうち、重要なことは？

3

8

上記の3つの対策のうち、重要なことは？

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【風水害③】 自治区（組など）ごとの風水害対応方法について考えるシート

ワークのすすめ方

風水害発生時において、行政頼みになり
自治区（組など）ごとの風水害対応ができないのはなぜか、その課題を考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる？？



1

【地域はどうなるか、
どうするか】考える

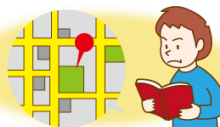
被災した自分や周囲の状況
をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

地域の被害について意見
を出し合い、【意見】を
記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例

★西日本を中心に、広域的かつ同時多発的に水害・土砂災害が発生した。倉敷市真備町の小田川流域では
洪水浸水想定区域と実際の浸水想定地域がほぼ一致しており、事前の広報にもかかわらず多数の死者（51名）が発生、被害者の多くは高齢者であった。

紫色の範囲

浸水深
5.0m以上の
区域

水色の範囲

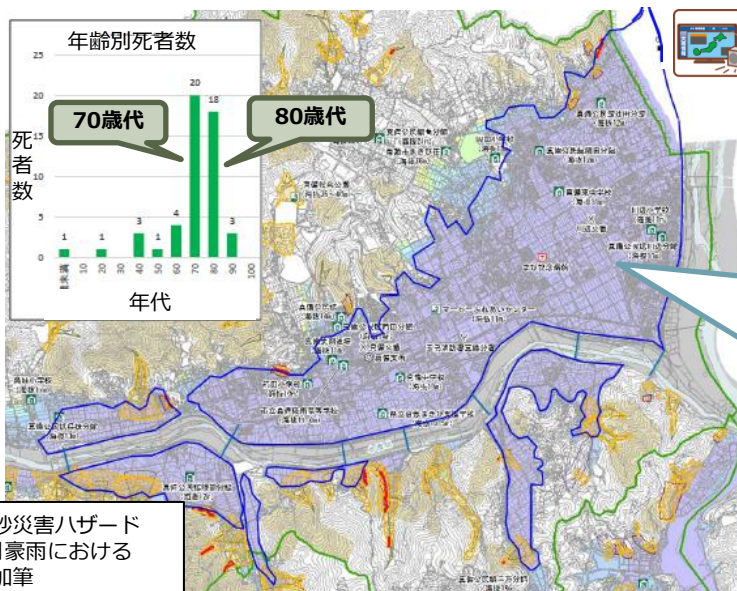
浸水深
2.0m以上の
区域

青の実線

平成30年
7月豪雨での
浸水範囲

※国土地理院作成の浸水
推定段彩図より模写

※倉敷市の洪水・土砂災害ハザード
マップにH30年7月豪雨における
実際の浸水範囲を加筆



紫色・水色で示した
範囲(洪水浸水想定
区域)と青い実線
の範囲(実際の浸水
範囲)が**ほぼ一致**



出典：国土交通省 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト 第1回 資料2-1
平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴 より一部加筆

平成27年9月関東・東北豪雨（鬼怒川水害）における事例

★台風18号や前線の影響で、関東地方と東北地方で記録的な
大雨が発生した。茨城県常総市内では、鬼怒川が氾濫し、
多くの家屋が流出するとともに、死者2人・負傷者40人以上、
全半壊家屋が5,000棟以上という甚大な被害になった。
鬼怒川の堤防が決壊する以前に避難勧告等が発令されていた
地区もあったが、決壊地点付近（三坂地区）を含む鬼怒川左
岸の広範囲の地域には、堤防決壊時点において避難勧告等が
発令されていなかった。

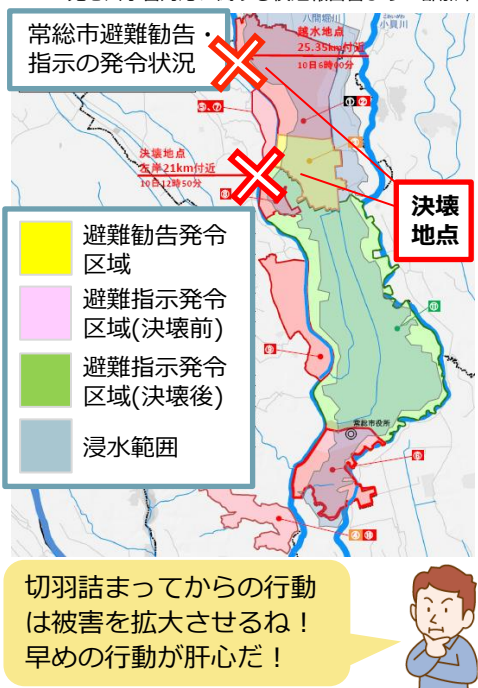
被災後ヒアリング調査に見る住民の避難の様子
※1

Q：自宅は浸水しましたか？	→A：はい	約68%
Q：救助は求めましたか？	→A：求めた	約11%
	求めなかった	約89%
Q：避難をした方へ、 避難を決めた理由は？	→A：身の危険を感じた	約52%
	避難勧告等	約16%
	自宅生活への不安等	約14%
Q：避難しなかった方へ、 自宅にとどまった理由は？	→A：自宅は浸水する心配 はないと思った	約47%

※1 調査対象：常総市における浸水地域または避難勧告
等が発令された地区の住民 516件

出典：内閣府 水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ 第3回【資料4】鬼怒川
洪水時の浸水・避難状況に関するヒアリング調査結果【単集計結果】より一部加筆

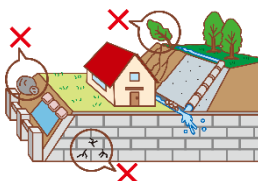
出典：常総市水害対策検証委員会 平成27年常総市
鬼怒川水害対応に関する検証報告書より一部加筆



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する
強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に
書き込みます

3

【意見】を記入する

原因は？
対策は？

「自治区（組など）ごとに
避難や災害対応ができない
のはなぜだろう？

どのような対策が
考えられるか

原因は？
対策は？

それは、なぜか？

3 1 2

原因は？
対策は？

それは、なぜか？

3 3 4

対策の
まとめ

上記の3つの原因のうち、
重要なことは？

上記の3つの対策のうち、
重要なことは？

3 5 7

3 6 8

4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

記入用紙

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

戻る

【風水害③】 自治区（組など）ごとの風水害対応方法について考えるシート

記入用紙

3 【意見】 を記入する

4 【今後の取り組み】 を記入する

原因は？
対策は？

3

1

自治区（組など）ごとに避難や災害対応ができないのはなぜだろう？

▶

3

2

どのような対策が考えられるか

<例> 声をかけづらい

原因は？
対策は？

3

3

それは、なぜか？

▶

3

4

どのような対策が考えられるか

<例> 新しく来た人と話したことがない

原因は？
対策は？

3

5

それは、なぜか？

▶

3

6

どのような対策が考えられるか

<例> 昼は人がいないから

対策の
まとめ

3

7

上記の3つの原因のうち、重要なことは？

▶

3

8

上記の3つの対策のうち、重要なことは？

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【風水害④】 要配慮者支援について考えるシート

ワークのすすめ方

風水害発生時において、**お年寄りや配慮が必要な人(要配慮者)を速やかに避難できるようにする**方法について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）はどうなる？？



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況をイメージします。



2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを見て、地域の被害や強み弱みについて確認します。



3

【意見】を記入する

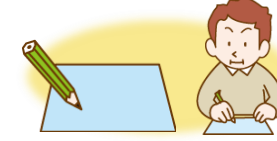
地域の被害について意見を出し合い、【意見】を記入します。



4

【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点や取組みを話し合い、記入します。



1

【地域はどうなるか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

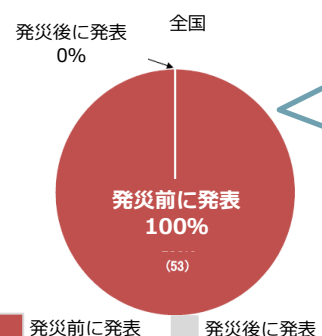
平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例

□被害の特徴

- ①西日本を中心に、広域的かつ同時多発的に水害・土砂災害が発生
- ②洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域において、避難行動を促す情報が発令されていたにもかかわらず、人的被害が多く発生
- ③被災者の多くが高齢者

土砂災害警戒情報の発表状況

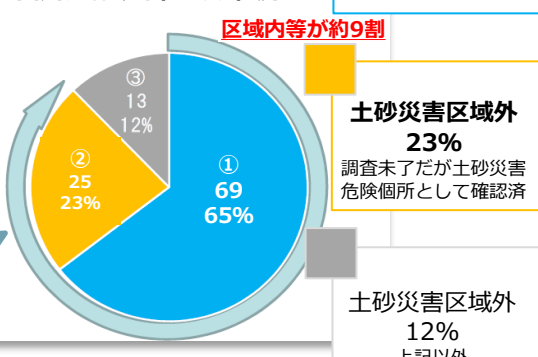
（平成30年8月8日時点）



人的被害（死者）が発生した53箇所のうち、発災時刻が特定できた全箇所、**土砂災害警戒情報が災害発生前に発表されていた。**

土砂災害による死者・行方不明者のうち、**約9割は土砂災害区域内で被災している**

土砂災害による人的被害箇所における区域の状況



出典：国土交通省 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト 第1回 資料2-1 平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴 より一部加筆

要配慮者における避難行動支援

要配慮者とは、「避難行動に助けが必要な人」なんだ！



避難行動支援に係る地域づくり

住民相互の助け合いを促し、避難支援等の体制を構築するために、平常時から地域づくりを進めておくことが重要である。このため、**市町村や自主防災組織・自治会等は、避難行動要支援者も含め、普段から住民同士が顔の見える関係を構築することを促し、避難支援等関係者を拡大するための取組を行っていくことが適切である。**

その際、防災に直接関係する取組だけでなく、日常の様々な事業の中で避難行動要支援者が地域社会で孤立することを防ぎ、避難行動要支援者自身が地域にとけ込んでいくことができる環境づくりに努めること、また、地域おこしのための様々な事やボランティアとの連携を検討することが考えられる。

＜地域づくり例＞

- ・地域行事への避難行動要支援者等の参加の呼びかけ
- ・避難行動要支援者等への日頃からの声かけや見守り活動 等



要配慮者について登録するしくみも知っておかなくては

【要配慮者の意見・要望】

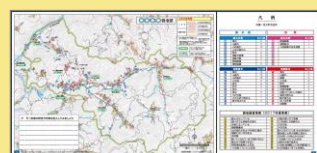
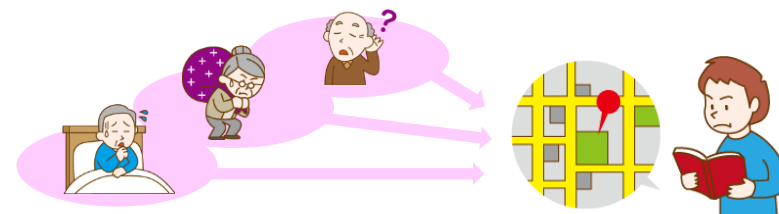
日頃から、地域で顔の見える関係をつくるよう、要配慮者自ら行動することも大切

出典：H26 愛知県 市町村のための災害時要配慮者 支援体制構築マニュアル <https://www.pref.aichi.jp/chiikifukushi/manual.pdf>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域で要配慮者対応が必要になりそうなところ**を確認しましょう。



防災カルテで確認した情報をもとに支援について検討し、【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

地域の要配慮者支援を行うために**確認すべきこと・やるべきこと**を記入欄に書き込みましょう

状況	支援が必要な人はどのような人か	支援をする上で困ることは何か？
災害対応	どのような支援が必要か？（手助け・対策）	誰が支援を担当するか？
備え	どのような道具や備えが必要か？	道具や備えはどこに保管するか？

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1



戻る

【風水害④】 要配慮者支援について考えるシート

3 【意見】 を記入する

状況

支援が必要な人は
どのような人か

3

1

支援をする上で
困ることは何か？

3

2

<例> 階段を使えない人

<例> 避難搬送する手立てがない

災害対応

どのような支援が必要か？
(手助け・対策)

3

3

誰が支援を担当
するか？

3

4

<例> 複数人で担ぐ
先導者をつける

<例> 自治区(組など)の担当

備え

どのような道具や
備えが必要か？

3

5

道具や備えはどこに
保管するか？

3

6

<例> ライト・避難路マップ

<例> 各担当の自宅

4 【今後の取り組み】 を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

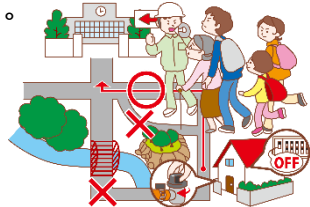
4

1

【風水害⑤】避難施設への避難について考えるシート

ワークのすすめ方

避難施設への移動に係る地域での判断や行動、支援活動のあり方について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる??



1

【地域はどうか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状況
をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

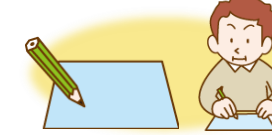
地域の被害について意見
を出し合い、【意見】を
記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取り組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

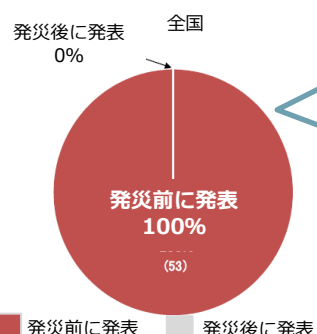
平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例

□被害の特徴

- ①西日本を中心に、広域かつ同時多発的に水害・土砂災害が発生
- ②洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域において、避難行動を促す情報が発令されていたにもかかわらず、人的被害が多く発生
- ③被災者の多くが高齢者

土砂災害警戒情報の発表状況

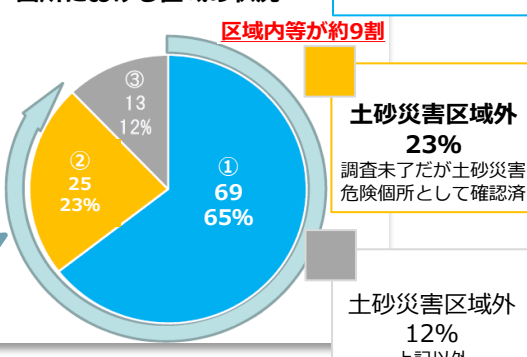
（平成30年8月8日時点）



人的被害（死者）が発生した53箇所のうち、発災時刻が特定できた全箇所で、**土砂災害警戒情報が災害発生前に発表されていた。**

土砂災害による死者・行方不明者のうち、**約9割は土砂災害区域内で被災している**

土砂災害による人的被害箇所における区域の状況



区域内等が約9割

土砂災害区域内
65%
警戒区域指定済または
基礎調査完了

土砂災害区域外
23%
調査未了だが土砂災害
危険箇所として確認済

土砂災害区域外
12%
上記以外

出典：国土交通省 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト第1回資料2-1 平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴より一部加筆

避難所を運営するための4つの基本方針＜豊田市＞

1

避難所が、地域の人々の安全を確保し、生活を再建するための地域の防災拠点として機能することをめざします。

2

避難所は、地域のライフラインが復旧する頃まで設置し、復旧後は速やかに閉鎖します。

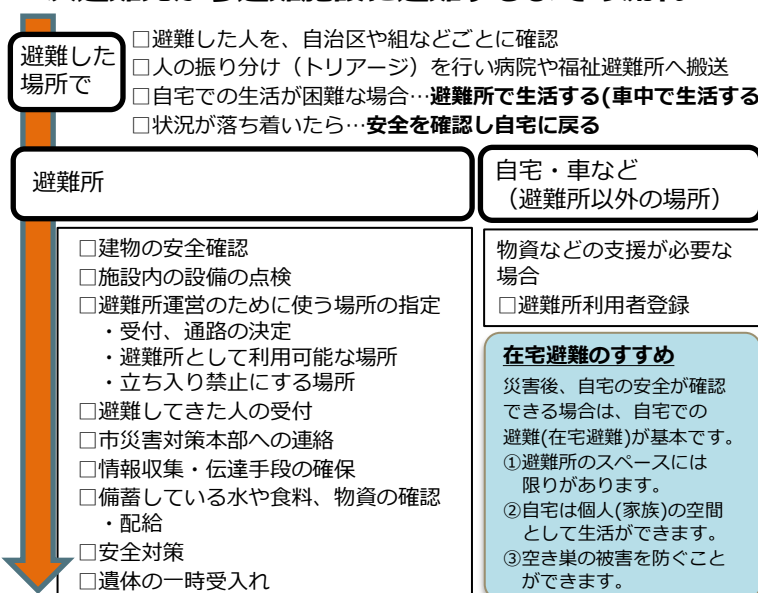
3

避難所では、避難所を利用する人(避難所以外の場所に滞在する被災者を含む)の自主運営を原則とします

4

避難所の後方支援は、市の災害対策本部が主に行います。

一次避難先から避難施設に避難するまでの流れ



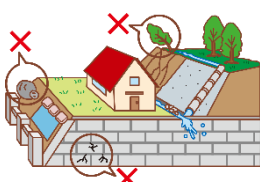
出典：豊田市避難所運営マニュアル（本編） 平成30年4月 を一部再構成
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1024005.html>

出典：豊田市避難所運営マニュアル（本編） 平成30年4月 を一部再構成
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1024005.html>

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

被害想定

どこが危険いか？

3 1

何が起きるか？

3 2

避難

どのような対応・行動をするか？

3 3

誰がするか？

3 4

備え

どのような道具や備えが必要か？

3 5

道具や備えはどこに保管するか？

3 6

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4 1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4 2

戻る

【風水害⑤】避難施設への避難について考えるシート

記入用紙

3 【意見】を記入する

被害想定

どこが危ないか？

3

1

何が起こるか？

3

2

<例> ○○道路

<例> 浸水

避難

どのような対応・行動
をするか？

3

3

誰がするか？

3

4

<例> 玄関に土のうを積む

<例> 浸水危険がある家

備え

どのような道具や
備えが必要か？

3

5

道具や備えはどこに
保管するか？

3

6

<例> 土のう

<例> 防災倉庫

4 【今後の取り組み】を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

【風水害⑥】情報の共有・報告について考えるシート

ワークのすすめ方

風水害発生時における**情報の共有・報告**について考えましょう。



ワークの順番

自治区（組など）は
どうなる？



1

【地域はどうか、
どうするか】考える

被災した自分や周囲の状
況をイメージします。



2

【防災カルテ】を
確認する

防災カルテを見て、
地域の被害や強み弱み
について確認します。



3

【意見】を記入する

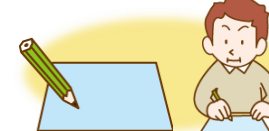
地域の被害について意見
を出し合い、【意見】を
記入します。



4

【今後の取り組み】を
記入する

自治区（組など）の問題
点や取組みを話し合い、
記入します。



1

【地域はどうか、どうするか】考える ～風水害が発生した場合の被害想定～

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）における事例（京都府：住民の避難行動に関する成功事例）

自助	○ 7月豪雨災害による土砂崩れで住家が全壊する被害があったが、<u>住民はすでに2日前に安全な家族宅に避難していた</u> ○ <u>前兆現象（におい、床に水が流入）があり、2階に避難した</u> ○ 避難しなかったが、<u>家が心配で山とは反対側の1階で就寝した</u>。土砂崩れが発生したが、就寝場所までは土砂が到達せずに助かった
共助	○ 消防団員が、<u>川が増水していることに気づき、避難勧告等の発令前であったが、避難が必要と判断し（中略）避難を呼びかけた</u> ○ <u>自主防災組織・消防団による高齢者宅への避難の声掛けにより、避難誘導。その30分後に土砂災害が発生（全壊の被害）し、一命を取り留めた</u> ○ 7月豪雨災害において、市内に土砂災害警戒情報、大雨特別警報（土砂災害）が発表される中で、<u>事前に地域のハザードマップを確認していた消防団員が、高齢者を地域内の土砂災害警戒区域外のお宅に避難誘導し、安全を確保した</u>



必要な情報の例

避難ができる状態か
逃げられない人はいないか

必要な情報の例

こまっている人はいないか
逃げ遅れはないか

出典：京都府 災害対応の総合的な検証会議（第2回）（平成30年12月27日）参考資料2住民の避難行動に関する成功事例 より一部抜粋

・避難準備が整い次第、避難開始
・避難行動を確認・高齢者は速やかに避難

・速やかに避難
・避難完了

・命を守るための最善の行動をとる



広域避難開始

台風に関する記者会見
（特別警報発表の可能性）

公共交通機関の運行停止

大規模水害の発生

はん濫発生情報発令

警戒
レベル2

-48h

警戒
レベル3

-24h

-12h

-9h

警戒
レベル4

-6h

-3h

0h

警戒
レベル5

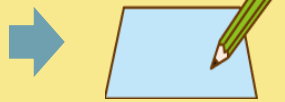
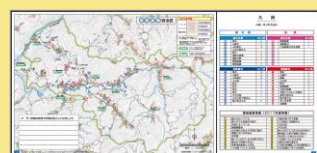
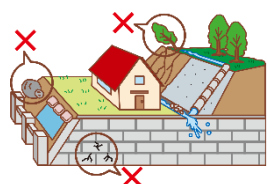
+3h

+6h

2

【防災カルテ】を確認する

防災カルテを参照し、**地域の危険性、災害に対する強み・弱み**を確認しましょう。



確認したことは、次の【意見】記入用紙に書き込みます

3

【意見】を記入する

記入用紙

	あなたに 必要な情報は 何か？	その情報は、 どのように 入手するか？	自治区（組な ど）で共有すべ き情報は何か？	区長さんに 報告すべき 情報は何か？
避難前				3 → 1
発生災害				
発生被害				
復旧応急				

4

【今後の取り組み】を記入する

記入用紙

現状の問題点・課題は何か

4

1

すぐに取り掛かるべきことは何か

4

2

戻る

【風水害⑥】 情報の共有・報告について考えるシート

記入用紙

3 【意見】 を記入する

	あなたに必要な情報は何か？	その情報は、どのように入手するか？	自治区（組など）で共有すべき情報は何か？	区長さんに報告すべき情報は何か？
避難前	 台風が近づいてきたな			
災害発生	 学校から帰ってきたはずの子供の行方が分からない！	停電だ！ なにも見えないぞ		
被害発生	強風にあおられて看板が飛んできた！	 災害対応で参集したけど、家が心配…帰っていいかな？	 皆の安否はどうなっている、困っている人はいないか…	
応急復旧		 水浸しになって身動きがとれない！		

4 【今後の取り組み】 を記入する

自治区（組など）の問題点・課題は何か

すぐに取り掛かるべきことは何か

保存版

松平地域 防災 マニュアル



「持続可能な松平防災事業」

この事業は松平地域会議の地域予算提案事業です。
松平地域の皆様の防災意識の向上を目的に 2017 年度
から 2021 年度までの 5 か年にわたって様々な取組を
行います。

地震 水害

災害の知識、お住まいの場所の
安全性 1 ページ ➡

指定避難場所、自主避難場所
避難場所までの道 2 ページ ➡

備蓄品を準備しよう 3 ページ ➡

非常持ち出し品を準備しよう 4 ページ ➡

災害に関する情報について 5 ページ ➡

家の中の地震対策について 6 ページ ➡

雨量や土砂災害の情報、
予兆・前兆への注意 7 ページ ➡

避難の心得など 8 ページ ➡

あわてず、落ち着いて行動し
命を守るための行動パターン 9 ページ ➡

避難所が開設されたら 10 ページ ➡

知っ
てお
こう

備蓄・持出品

災害の情報源

地震対策

水害が発生！

地震が発生！

避難所が開設

このマニュアルは

「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念の下、地震や風水害等の大規模災害の発生に備え、松平地域内の住民自らが被害の事前防止や拡大防止に努めるために、あらかじめ必要な事項を定めるものです。

住民の責務として

「自分の命は自分で守る」という防災の原点に立って、食糧・飲料水の備蓄や消火・救助活動に協力するとともに、被害を軽減するため、松平地域の住民自らが災害活動の担い手となり、地域住民が協力し、組織的に行動することが必要であり、豊田市災害対策本部や消防署などの防災機関と連絡を密にすることが求められます。

松平地域では、特に土砂災害や水害に注意が必要です。
自治区内の危険な場所や、いざというときの行動を確認しましょう

日頃からの地域の防災活動に参加して、意識を高めましょう。

わが家の決めごとを書き込んでおこう

避難場所や避難所	自主避難場所
	緊急避難場所・避難所
避難ルート (気をつけることなど)	
その他 (家族が離ればなれになった ときの集合場所など)	

家族等の連絡先

名前	携帯電話	連絡先（勤務先や学校等）	メールアドレス（携帯電話等）

このマニュアルは、皆さんが記入することで完成します。
白地の記入欄を家族等で記入し、防災活動に役立てましょう。

災害や避難について知っておこう

災害に対して知っておこう

災害について、各自がしっかりと基礎知識を理解することが大切です。
知識が身についたら、□にレ点を書きましょう。

☐ 過去の災害に対する基礎知識	松平地区防災マップ とよた i マップ「防災マップ」
☐ 土砂災害や河川の氾濫で危ない場所	各自治区の防災マップ 豊田市洪水ハザードマップ など
☐ 南海トラフ地震の最大震度分布	豊田市地震ハザードマップ

- 以下の資料は豊田市ホームページで公開しています。

とよた i マップ	https://www2.wagmap.jp/toyotacity/Portal?mid=4
豊田市洪水ハザードマップ	http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1002342.html
豊田市地震ハザードマップ	http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1002340.html

- 以下は QR コードです。スマートフォンや携帯電話でご覧いただけます。

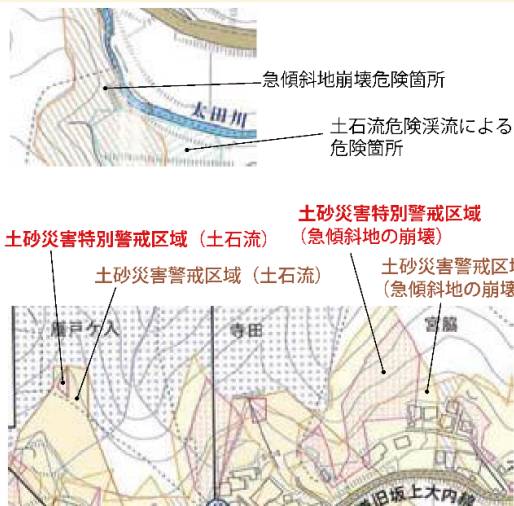


住んでいる場所が土砂災害のおそれのある地区かどうか確認しよう

土砂災害のおそれのある地区は「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」とされています。
普段から自分の家がこれらの土砂災害のおそれのある地区にあるかどうか、防災マップやとよた i マップ、洪水ハザードマップで確認しましょう。
ただし、土砂災害危険箇所でなくても、付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意を。

防災マップには土砂災害や水害の危ない場所が記してあります。
避難場所までの道が危ない場所になっているときは、
災害が起ってからでは避難できなくなるおそれがあります。

● 防災マップの例



※お住まいの自治区によって、地図上に塗っている色が異なります。
また、自治区によっては土砂災害警戒区域や、土砂災害特別警戒区域を示していない防災マップもあります。

土砂災害危険箇所

(土石流危険渓流による危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所)
1/25,000 地形図で土砂災害のおそれがある箇所を
図上から想定した箇所です。法的な位置づけはありません。

土砂災害警戒区域

(土石流、急傾斜地の崩壊)

土砂災害防止法に基づく、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域

(土石流、急傾斜地の崩壊)

土砂災害防止法に基づく、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の**生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれ**があると認められる区域です。

松平地区緊急避難場所、避難所と最寄りの自主避難場所を確認しましょう

緊急避難場所はお住まいの地域に関係なく、災害時に安全に行くことができる場所に避難してください。
緊急避難場所には、避難者に対する十分な備蓄はありません。非常持ち出し品をお持ちください。(→4 頁参照)

	名 称	所在地	連絡先
緊急避難場所・避難所	松平こども園	九久平町築場 52	(58) 0070
	幸海小学校	幸海町下御堂下切 14- 1	(58) 0127
	岩倉小学校	岩倉町五ツ畑 23	(58) 0119
	九久平小学校	九久平町寺前 3- 2	(58) 0027
	滝脇小学校	滝脇町切石洞 18- 1	(58) 0252
	豊松小学校	坂上町郷敷 1- 1	(58) 0129
	松平高等学校	鵜ヶ瀬町桐山 1	(58) 1144
自主避難場所			

緊急避難場所…

切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所

避難所…

災害発生後、施設の安全が確認された後に被災者が生活する場所

自主避難場所の
情報を記入

※緊急避難場所には、最大3名まで市職員が配備されます。

防災マップを使って避難場所までの道を確認しましょう 確認したら□にレ点を書きましょう

- ☐ 災害が起きたときの避難ルートや家族の集合場所について話し合いましょう。
話し合った内容はこのマニュアルの裏表紙に書きましょう
- ☐ 防災マップを使って避難ルートを実際に歩いて、安全を確認しましょう。
一番遅い人のスピードに合わせて歩きましょう
- ☐ 地区や自治区の防災訓練や防災講座などに積極的に参加し、
役立つ情報を防災マップに書き込んでおきましょう。



- 避難は原則として徒歩で行いましょう。自家用車で避難すると、渋滞が発生することによって、緊急車両の通行ができなくなるおそれがあります。
- 水害時にやむを得ず自家用車で避難する場合は災害が起こる前に避難を完了させましょう。
- 地震の避難は、必ず徒歩で避難しましょう。自家用車は使わないでください。
- 災害時には「危険な場所」には極力、近づかないようにしましょう。

個人や家庭で準備しておこう

備蓄品を準備しよう

避難所に十分な食料や備蓄品があると思って頼ってはいけません。阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震など大きな災害が起きますと避難所では食料すら足りない状況が必ず起きています。

大規模災害が発生して、被災地の外からの食料支援を受けられるようになるには数日かかることがあります。市や各自治区の防災倉庫での備蓄は補助的なものと考え、被災地以外からの支援を受けられるまでの数日間に必要な物はすべて、自分たちで用意しておくようにしましょう。

特に、赤ちゃん用の粉ミルクやアレルギーに配慮した食事など、一部の人に必要な食料や物資は、外部からの支援で届くのも特に遅れますので、より多く自分たちで用意しておくことが重要です。

7日分の備蓄を！

大規模な災害が発生したときに、人命救助のリミットは発生から72時間（3日間）と言われています。したがって、災害発生から72時間は救急・救助活動が優先されますので、救援物資の支援は遅くなりがちです。ですから、各自で備蓄をして対応する必要があります。

南海トラフ地震対策では、想定される被害が大きいので、7日分の備蓄をお願いいたします。

備蓄のコツ

- 備蓄品は、普段使っているものを、**少し多めに買い置き**することで、無理なく実践しましょう。
- 断水したときに生活用水に困らないよう、常にお風呂に**水を張って**おきましょう。
- 食料や水など**賞味期限のあるもの**は**定期的に確認**し、**使いながら更新**しましょう。
- オール電化住宅では停電するとお湯を沸かすことさえできなくなるので、カセットコンロやカセットガスボンベを用意しておきましょう。
- キッチン、車庫、物置、ベランダなど、出しやすい場所に配置しましょう。

備蓄リストの例

必要最低限のものは各家庭によって異なるので、生き延びるために必要なものを考えて買い置きしましょう。

必要なものに チェック ↓	備蓄品	点検日			必要なものに チェック ↓	備蓄品	点検日		
		／	／	／			／	／	／
☐	ウォータータンク	☐	☐	☐	☐	掃除用具（ほうき、ちりとり）	☐	☐	☐
☐	カセットコンロ	☐	☐	☐	☐	ウェットタオル	☐	☐	☐
☐	カセットガスボンベ	☐	☐	☐	☐	食品用ラップフィルム	☐	☐	☐
☐	生活用水（お風呂の残り湯など）	☐	☐	☐	☐	スーパーのレジ袋、ごみ袋	☐	☐	☐
☐	飲料水（1人1日3リットル）	☐	☐	☐	☐	ガムテープ	☐	☐	☐
☐	食料（アルファ米、缶詰、レトルト等）	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐
☐	ろうそく	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐
☐	簡易トイレ	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐
☐	歯磨きシート	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐
☐	抗菌・消臭剤	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐
☐	救急セット	☐	☐	☐	☐		☐	☐	☐

▲ 白枠内は、ご自身で必要なものをご記入ください。

あると便利なものの例：救急箱、ティッシュペーパー・トイレットペーパー、マッチ・ライター、使い捨てカイロ、生理用品、携帯電話のバッテリー、乳幼児・高齢者・ペット用食品など

非常持ち出し品を準備しよう

大規模な災害が発生したときに、すぐに避難できるように、非常持ち出し品を準備しましょう

非常持ち出し品のポイント

- 避難時に持ち出せる最小限の袋を用意しましょう。1人1袋が理想的です。
- 非常持ち出し品は、**リュック**に入れておきましょう。（両手を空けるために背負えるものがベストです）
- 玄関や寝室、クルマの中、物置など**すぐに持ち出せる場所**に用意しましょう。
- 非常持ち出し品を実際に持って、避難できるか確認してみましょう。（目安は男性15kg、女性10kg）
- 避難時に足元を守るために、**寝室などにスリッパや靴**を準備しましょう。
- 最終的には、**各自必要なものを判断して**持ち歩くものを決めましょう。

非常持ち出し品リスト

必要なものに チェック ↓	非常持ち出し品	点検日			必要なものに チェック ↓	非常持ち出し品	点検日		
		／	／	／			／	／	／
☐	現金 公衆電話で使用するための 10円、100円硬貨を含む	☐	☐	☐	☐	離乳食	☐	☐	☐
☐	印かん	☐	☐	☐	☐	粉ミルク	☐	☐	☐
☐	身分証明書（免許証などのコピー）	☐	☐	☐	☐	乳幼児用 消毒用品	☐	☐	☐
☐	携帯電話の充電器	☐	☐	☐	☐	紙おむつ	☐	☐	☐
☐	懐中電灯	☐	☐	☐	☐	おしりふき	☐	☐	☐
☐	ラジオ	☐	☐	☐	☐	入れ歯	☐	☐	☐
☐	乾電池	☐	☐	☐	☐	高齢者用 介護食	☐	☐	☐
☐	タオル	☐	☐	☐	☐	大人用紙おむつ	☐	☐	☐
☐	ティッシュ・除菌シート	☐	☐	☐	☐	疾患の ある方用 主治医連絡先	☐	☐	☐
☐	雨具（ポンチョなど）	☐	☐	☐	☐	持病薬メモ（処方箋等）	☐	☐	☐
☐	マスク	☐	☐	☐	☐	持病薬	☐	☐	☐
☐	止血するもの	☐	☐	☐	☐	動物病院連絡先	☐	☐	☐
☐	ライター	☐	☐	☐	☐	リード	☐	☐	☐
☐	下着	☐	☐	☐	☐	ペット用 ゲージ	☐	☐	☐
☐	軍手	☐	☐	☐	☐	ペット用食品	☐	☐	☐
☐	ヘルメット	☐	☐	☐	☐	排泄用品	☐	☐	☐
☐	メガネ・コンタクトレンズ	☐	☐	☐	☐	その他 わが家で 必要な もの		☐	☐
☐	生理用品	☐	☐	☐	☐			☐	☐
☐	食品（すぐに食べられるもの）	☐	☐	☐	☐			☐	☐
☐	飲料水	☐	☐	☐	☐			☐	☐
☐	防寒着、使い捨てカイロなど	☐	☐	☐	☐			☐	☐
☐	ナイフ	☐	☐	☐	☐			☐	☐
☐	ごみ袋、レジ袋	☐	☐	☐	☐			☐	☐

▲ 白枠内は、ご自身で必要なものをご記入ください。

災害に関する情報について

災害時の情報源を確認しましょう

テレビ・ラジオ

豊田市の災害情報等を放送

ひまわりネットワーク

- ・生活情報チャンネル（CATV126ch）
- ・ひまわり12（地上12ch、デジアナ6ch）
- ・ひまわりch（CATV121ch）

FMとよた「ラジオラビート」78.6MHz

メール

緊急メールとよた 要事前登録

事前に登録されたメールアドレスに以下の緊急情報や気象情報を配信します。

気象情報（注意報・警報・特別警報等）
地震情報、避難情報等 ※登録時に一部選択可

登録は以下の URL から
<https://service.sugumail.com/toyota/>



松平地域は「豊田市西部」です。
また巴川上流部の「豊田市東部」も確認しよう！

緊急メールとよた QR コード

緊急速報メール

携帯電話事業者（NTT ドコモ、KDDI・沖縄セルラー（au）、ソフトバンク）が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報を携帯電話に一齐に配信します。

※機種によっては受信できない場合や受信のための設定が必要です。詳しくは各携帯電話事業者にお問い合わせください。

防災行政無線・防災ラジオ

災害時には音声や警報音で緊急情報をお知らせします。

防災テレホンサービス

防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます。

0120-34-0174（通話料無料）

0565-37-3530（通話料有料）

インターネット

豊田市ホームページ

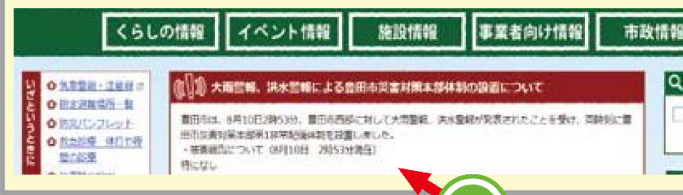
「豊田市」を検索して、ホームページにアクセスしてください。

豊田市

検索

クリック

・災害時は、ホームページの上部に注意情報が表示されます。



クリック

災害時の連絡手段を確認しておきましょう

災害用伝言ダイヤル

音声案内に従ってボタンを押してください。

171

伝言するときは

1

()

30秒以内
伝言する

伝言を聞くときは

2

()

30秒以内
伝言を聞く

※固定電話の場合は市外局番から入力してください。

携帯電話の災害用伝言板

携帯電話各社のトップメニューより「災害用伝言板」を利用する。

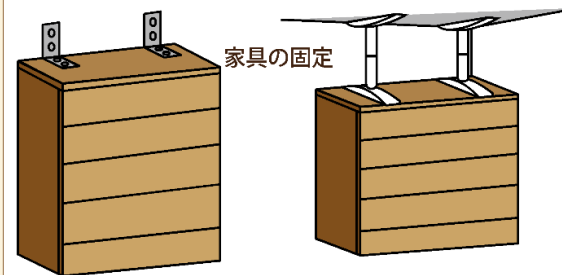
家の中の地震対策について

地震のときに、家の中で家具などが倒れないように対策をしましょう

阪神淡路大震災では、負傷者の3～5割が屋内における家具類の転倒・落下・移動が原因で負傷し、約3割が飛散したガラスでけがをしています。また、家電製品や家具が転倒・落下・移動することによって出火するなどの二次的被害も起きました。

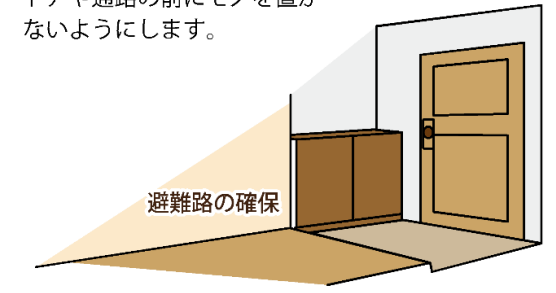
家具の転倒を防ぐ

家具を壁や天井に固定し、転倒しないようにします。



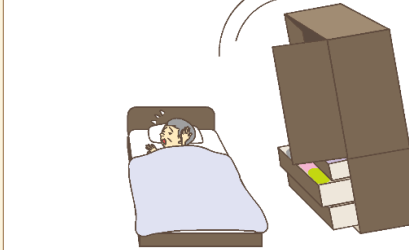
避難路を確保する

ドアや通路の前にモノを置かないようにします。



寝室に背の高い家具を置かない

背の高い家具が布団やベッドに向かって転倒しないようにします。



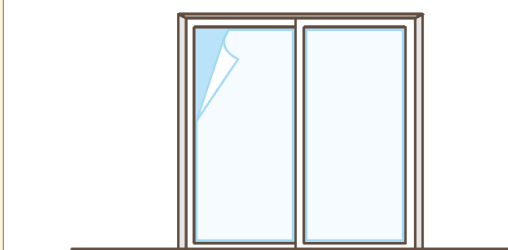
収納を集中させ、安全な場所を作る

居住空間と収納空間を分離して、安全な場所を作ります。



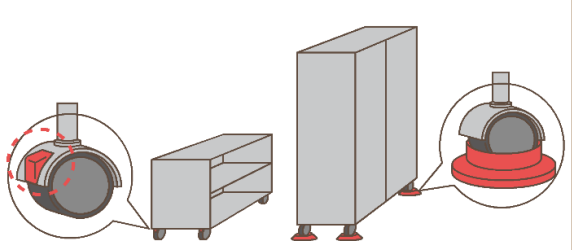
ガラスの飛散を防止する

ガラスに飛散防止フィルムを貼ります。



家具の車輪の移動を防止する

家具のキャスターを固定します。



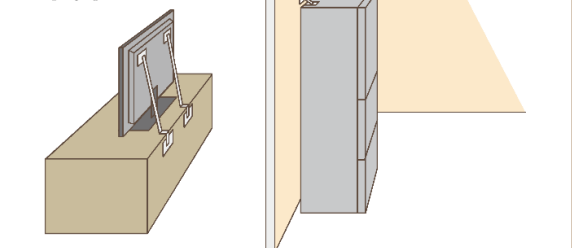
食器扉を固定する

食器扉に留め金を設置して、揺れによって扉が開いて食器が落ちないようにします。



家電の揺れや転倒を防止する

家電を家具や壁に固定します。



水害が発生する前にどうするか？

豪雨になる前に

雨が降り始めたら雨量の情報や土砂災害警戒情報に注意しましょう

大雨による土砂災害発生危険度が高まったときには「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降りだしたら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

特に巴川の増水は松平地区だけでなく、上流部の雨量が影響します。豊田市東部（足助、下山、稲武、旭）や新城市、設楽町など東三河北部の雨量にも注意しましょう。



土砂災害の予兆や前兆に注意しましょう

土砂災害の多くは、前ぶれがあります。

長雨や大雨、または地震が発生したときに、市役所からの災害情報の前に、以下の前ぶれを確認したら、早めに安全な場所に避難し、市役所、松平支所や愛知県豊田加茂建設事務所などへ通報してください。

土砂災害の種類	がけ崩れ	地すべり	土石流
特徴	 斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。斜面の崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため甚大な被害が発生。	 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速 20～40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。
主な前兆現象	がけにひび割れができる 小石がパラパラと落ちてくる がけから水が湧き出る がけからの水が濁る 湧き水が急に増えたり、止まる・濁る 地鳴りがする 木が揺れたり倒れたりする	地面がひび割れ・陥没 がけや斜面から水が噴き出す 井戸や沢の水が濁る 地鳴り・山鳴りがする 樹木が傾く 亀裂や段差が発生	山鳴りがする 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める 腐った土の匂いがする 降雨が続くのに川の水位が下がる 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

豊田市の災害情報などに注意して早めの避難を心がけましょう

崖下、谷川の近くに住んでいる人は特に注意し、危険が高まったら早めに避難しましょう。

増水した川の近くなど危険がある場所には近付かないようにしましょう。

土砂災害の予兆や前兆に注意しましょう。（→7 頁参照）

夜間に大雨が予想される場合には、暗くなる前に早めの避難をするとより安全です。

雨が2～3日降り続くような場合は特に土砂災害の注意が必要です。

隣近所で助け合い、情報交換や安否確認をしましょう。

移動が困難なときは、頑丈な建物の2階以上、それも困難な際には崖から離れた2階の部屋等へ避難しましょう。



豊田市からの避難情報が出る前であっても自分で判断して避難しましょう

気象庁が配信する情報	豊田市が配信する情報
低 大雨注意報、洪水注意報 大雨警報、洪水警報 大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがある、もしくは河川の上流域での大雨によって下流で重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表 土砂災害警戒情報 大雨警報（土砂災害）が発表されている場合のみ発表 大雨特別警報 台風や集中豪雨などにより数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表 高	低 避難準備・高齢者等避難開始 - 高齢者、子ども、身体の不自由な方など避難に時間がかかる方は、指定避難場所へ避難してください。 - それ以外の方は、家族などとの連絡、非常持出品の用意など、避難の準備を始めてください。 避難勧告 - 土砂災害や洪水等による被害の可能性が高まり、避難の実施を促すものです。お互い助け合って、指定避難場所への避難を始めてください。 避難指示（緊急） - 人命に関わる重大な危険が迫っているために、避難を指示するものです。指定避難場所へ避難してください。 - 屋外への避難がかえって危険な場合には、建物の2階以上など、屋内退避により身の安全を確保してください。 高

雨の降り方と強さ（1時間の雨量：mm）			
(10 以上～20 未満) 地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。 やや強い雨	(20 以上～30 未満) 傘をさしていても濡れてしまうほどの土砂降りの雨。側溝などから水が溢れてしまう心配があります。 強い雨	(30 以上～50 未満) バケツをひっくり返したような激しい雨。崖崩れ等の心配があります。道路規制も行われ、避難の準備が必要です。 激しい雨	(50 以上～80 未満) 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。河川の水位が堤防ぎりぎりのところまで上がる可能性がある激しい雨です。 非常に激しい雨 東海豪雨 (1時間最大 61mm)
			(80 以上) 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。車や家屋等が水に浸かる可能性が十分に高く、厳重な警戒が必要です。 猛烈な雨 47.7 災害 (1時間最大 85.5mm)

水害が発生？

水害が発生？

地震が発生したときにどうするか？

地震はいつ起こるかわからず、起きる前に避難をすることができません。様々な二次災害が起こる場合があるため、迅速で冷静な行動が重要となります。地震が起きても、あわてず落ち着いて行動し、命を守るための以下の行動パターンを覚えておきましょう。

地震発生

- 落ち着いて、自分の身を守る
- 可能ならばドアや窓を開けて、出口を確保する（→6 頁参照）



1～2分

- 火元を確認し、出火していたら初期消火を行う
- 家族の安全を確認する

3分

- 靴をはき、ガラスの破片等から足を守る
- 非常持ち出し品（→4 頁参照）を用意する



5分

- 隣近所の安全を確認する
- 余震に注意する
- ラジオなど（→5 頁参照）で正しい情報を確認する

5～10分

- 電話はできるだけ使わない
- 家屋の倒壊などの危険があれば避難する（→6 頁参照）



10分～数時間

- 子どもを迎えに行く
- 出火防止対策として、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る
- 隣近所で協力し、消火・救出活動にあたる
- 避難所では運営に協力する（→10 頁参照）

～3日程度

- 生活必需品は備蓄品（→3 頁参照）でまかなうようにする
- 災害情報、被害情報（→5 頁参照）を常に得られるようにしておく
- 倒壊の危険のある家や場所には近付かない

● 震度と揺れの状況

震度1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいます。
震度2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じます。
震度3	屋内でいる人のほとんどが、揺れを感じます。
震度4	電灯などのつり下げ物が大きく揺れ、座りの悪い置物が倒れることがあります。
震度5弱	棚にある食器類や本が落ち、固定していない家具が動いたり倒れたりすることがあります。
震度5強	物につかまらなさと歩くことが難しく、補強されていないブロック塀が崩れることがあります。
震度6弱	立っていることが困難になり、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。
震度6強	固定していない家具が移動し、耐震性の低い木造建物で傾いたり倒れたりします。
震度7	耐震性の低い建物の倒壊が多くなり、耐震性の高い建物でもまれに傾くことがあります。

避難所が開設されたら

みなさんで避難所を運営していただきますので、運営に協力してください

指定避難場所内の体育館などの建物に避難所が開設されます。
大災害時には、地域住民や避難者が中心となって避難所を運営していただきます。

緊急情報の入手は「緊急メールとよた」（→5 頁参照）に加入しておく便利です。

避難を決めたら

情報収集しながら
避難所へ移動

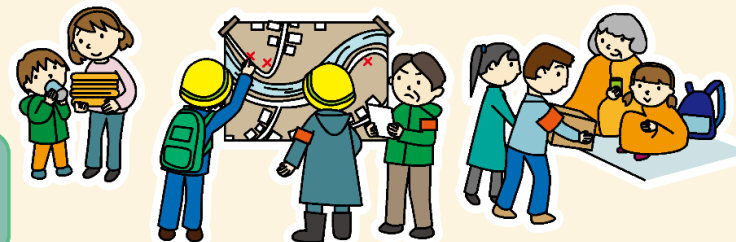


避難の途中で
被災者を発見したら
協力して救助を！！

避難所に着いたら

情報提供や
運営支援に
協力しましょう
必要に応じて
安否確認や救助活動
にもご協力を

避難所の開設・解錠は市職員が行います。



- 隣近所で声をかけ、避難行動要支援者名簿などをもとに、自力で避難できない人を支援しながら必要に応じて避難しましょう。
- 避難所の開設情報は豊田市ホームページで確認できます。（→5 頁参照）
- 避難所が開設されていないときも、危険な状況の場合には、自分の判断で自主避難場所等への避難を開始しましょう。
- 避難所への移動がかえって危険な場合は、自宅等安全な場所で待機します。ただし、安否確認ができるよう、あらかじめ自治区で申し合わせておきましょう。

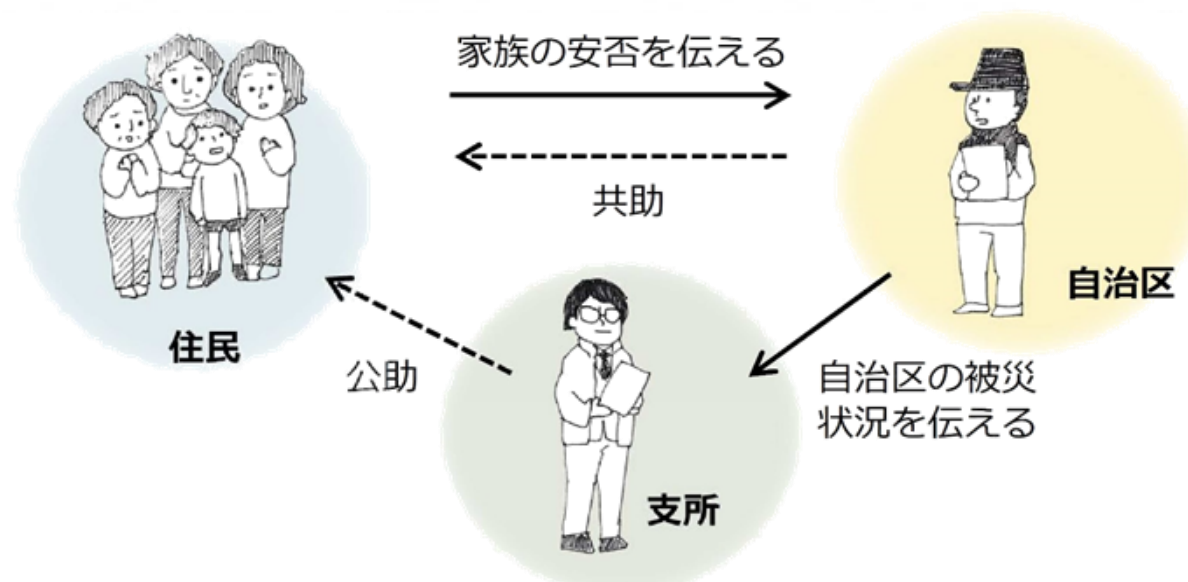
自治区ごとの安否確認のやり方 <安否確認用カード（自主避難場所用）を使用する場合>

安否確認を行い共助・公助を進める

過去災害では、生き埋めになった人の約8割の人が家族や隣人（自助・共助）により救助された。この事実からも、災害から身を守るためには、家族や近隣住民と助け合う共助が非常に重要であることがわかる。

そのため、安否確認を行い支援が必要な人を把握することは、地域にとって優先度の高い行動となる。

参考：内閣府 平成30年版 防災白書 | 第1部 第1章 第1節 1-1 国民の防災意識の向上
https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h30/honbun/1b_1s_01_01.html

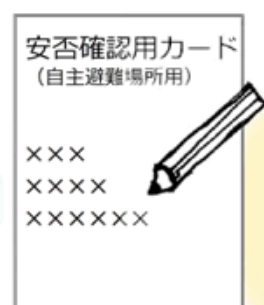


1. 家族の安否を確認する



家族と安否確認
を取り合う

2. 安否確認用カード （自主避難場所用） を書く



安否確認用カード
（自主避難場所用）
に家族の安否を
記入する

3. 家族の安否を 伝える



避難所で家族の
安否を伝える

4. 組または ブロックの 安否等をまとめる



安否確認調査表に
書き込む

5. 区長等に 伝える



定期的に区長など
に伝える

6. 自治区の 安否等を まとめる



組ごとの安否確認を
集計して、自治区の
状況を把握する

7. 支所に 伝える



定期的に伝える

住民

自治区役員

区長など

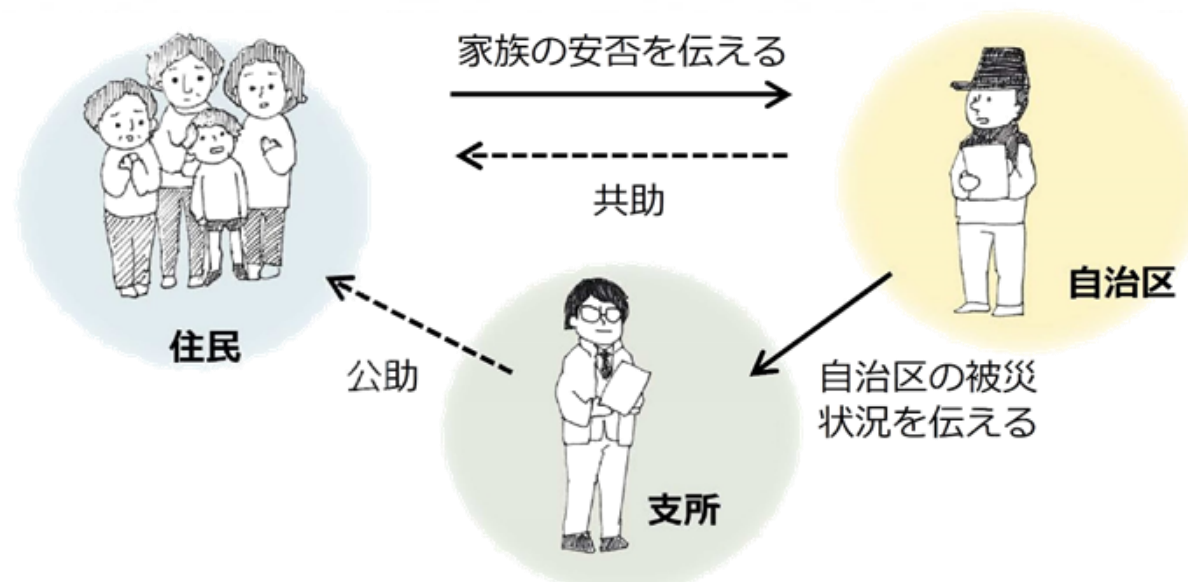
自治区ごとの安否確認のやり方 <安否確認調査票を使用して確認する場合>

安否確認を行い共助・公助を進める

過去災害では、生き埋めになった人の約8割の人が家族や隣人（自助・共助）により救助された。この事実からも、災害から身を守るためには、家族や近隣住民と助け合う共助が非常に重要であることがわかる。

そのため、安否確認を行い支援が必要な人を把握することは、地域にとって優先度の高い行動となる。

参考：内閣府 平成30年版 防災白書 | 第1部 第1章 第1節 1-1 国民の防災意識の向上
https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h30/honbun/1b_1s_01_01.html



1. 家族の安否を確認する



家族と安否確認
を取り合う

2. 家族の安否を伝える



避難所で家族の
安否を伝える

3. 組または ブロックの 安否等をまとめる



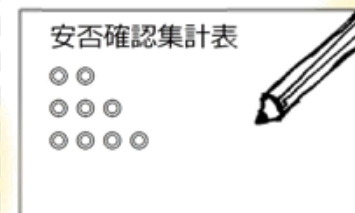
安否確認調査表に
書き込む

4. 区長等に 伝える



定期的に区長など
に伝える

5. 自治区の 安否等を まとめる



組ごとの安否確認を
集計して、自治区の
状況を把握する

6. 支所に 伝える



定期的に伝える

住民

自治区役員

区長など

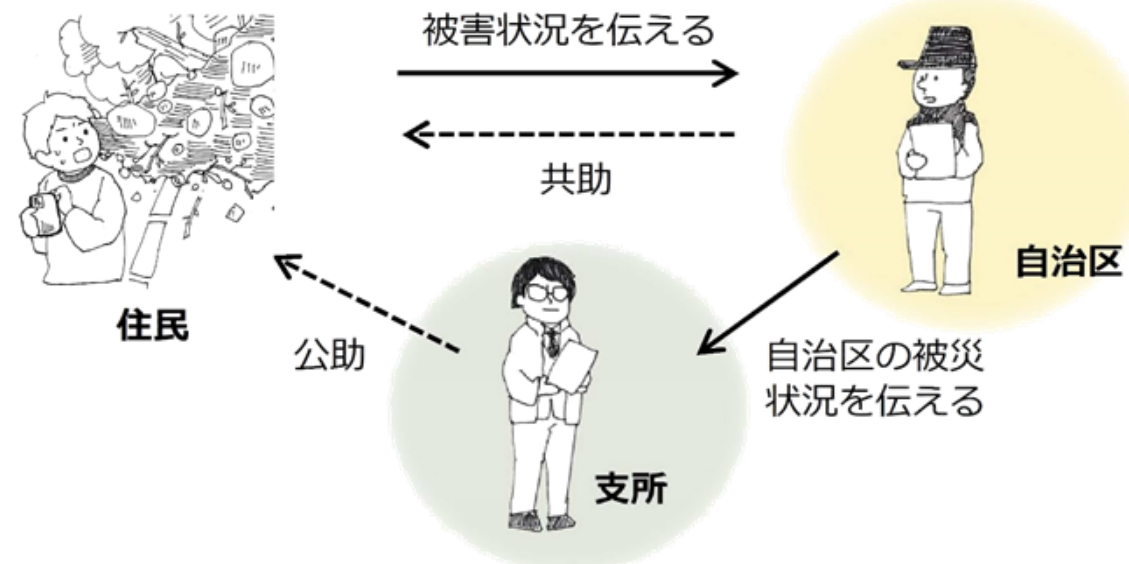
自治区ごとの被災状況のまとめかた

地域の被害状況の迅速かつ正確な収集・伝達

災害発生時には地域の被害状況を迅速かつ正確に収集・伝達する必要がある。自主防災組織は、地域の中で起きている状況を自分達で確認できるような情報収集・伝達体制をあらかじめ検討しておく、災害時に効率よく活動することができる。

被害状況だけでなく、人に関する情報についても収集しておく、災害ボランティアや社会福祉協議会と連携する際に有効な情報となる。

参考：総務省消防庁 令和5年3月 自主防災組織の手引き
https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/items/bousai_R5_3.pdf

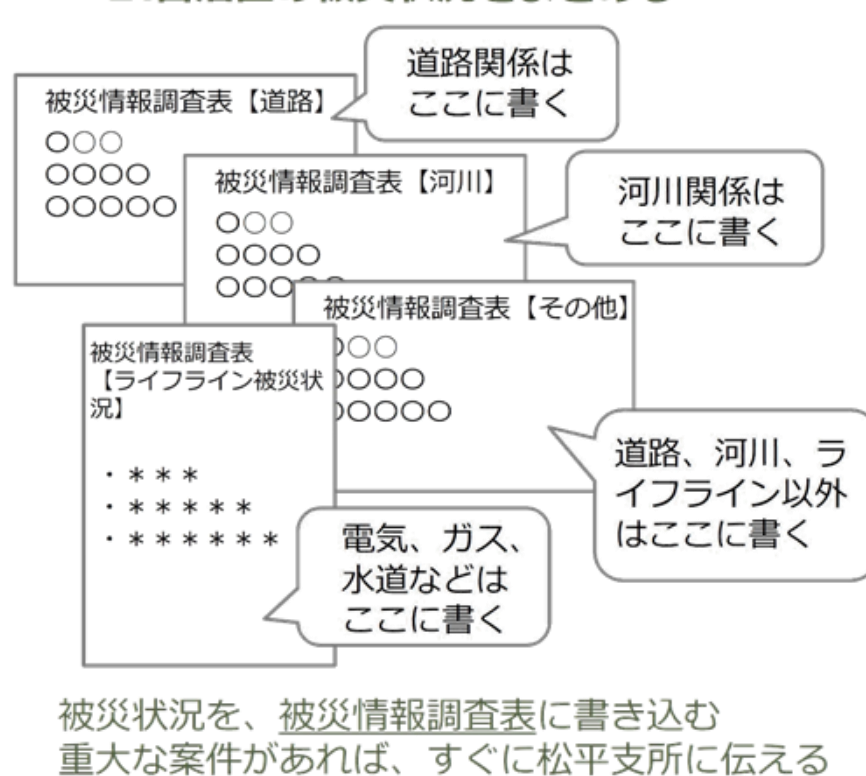


1.被災状況を伝える



住民

2.自治区の被災状況をまとめる



区長など

3.支所に伝える



行動チェックリスト

- ① 平時に、各取組は誰から誰へ指示を出すのかを決めておき、記入をする。
- ② 発災時、各取組を行ったかどうかをその都度チェックする。
- 自治区

	内 容		取 組	誰から		誰へ
1	対応チーム発足	1	会長は対応チーム招集を指示する	会長	→	対応チーム
		2	対応チームは集合する		→	
2	避難所開設	1	避難所開設（受付準備含む）を指示する	会長	→	
		2	避難所を開設する		→	
		3	避難所開設を積載車にて広報活動する			
3	被害状況確認	1	被害状況確認を指示する	会長	→	
		2	被害状況を確認する		→	
		3	被害状況確認結果を「被害状況集約表」へ記入する			
4	要支援者対応	1	要支援者避難確認の要請を支援者に指示する	会長	→	支援者
		2	要支援者避難を確認する	支援者	→	要支援者
		3	要支援者避難確認結果の報告をする	支援者	→	会長
		4	要支援者避難を支援する	支援者	→	要支援者
		5	要支援者避難状況を報告する	支援者		会長
5	安否確認	1	区民へ「安否確認用カード」の配布及び記入を依頼する		→	
		2	区民から「安否確認用カード」回収・集約後、避難者状況・安否状況を報告する		→	
		3	安否確認用カードの報告内容を「安否情報調査表」へ記入する		→	
		4	安否未確認者の確認を指示する		→	
		5	安否未確認者を確認する		→	
		6	安否未確認者確認の結果を報告する		→	
6	支所への報告	1	松平支所へ「被害状況」「要支援者避難状況」「避難者安否確認結果」等を報告する	会長	→	松平支所
7	避難所運営	1	住民で協力して避難所運営をする		→	